

平成30年度
北九州市社会福祉ボランティア大学校

事業報告書



目次

1	事業の総括	1
2	研修実施状況一覧	2～5
3	研修実施内容	
	(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成	
	○ まちづくりセミナー	6～7
	○ ふくしのまちづくり講座	8～29
	(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成	
	① 入門者	
	○ 福祉有償運送運転協力者研修	30～41
	○ 傾聴ボランティア養成講座	42～43
	○ 私にもできる災害ボランティア入門講座	44～45
	② 活動者	
	○ 送迎ボランティア・フォローアップ研修（実技）	46～47
	○ 送迎ボランティア・フォローアップ研修（座学）	48～49
	○ 傾聴ボランティア・フォローアップ研修	50～51
	○ 災害ボランティア・フォローアップ研修	52～53
	③ リーダー	
	○ ボランティアリーダー研修	54～55
	(3) 小地域福祉活動者（地縁型ボランティア）の育成	
	① 新任者	
	○ 新任福祉協力員等研修	56～71
	② 現任者	
	○ 現任福祉協力員研修	72～85
	○ 地域福祉活動専門研修	86～87
	③ 役員	
	○ 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	88～89
	○ 校(地)区社協新任役員研修	90～91
	○ まちづくりゼミナール	92～93
	(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成	
	○ 企業の社会貢献活動セミナー	94～95
	○ 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	96～97
	(5) ボランティア・市民活動支援者の育成	
	○ ボランティアコーディネーター研修	98～99

1 事業の総括

北九州市社会福祉ボランティア大学校では、「北九州市地域福祉計画」や「北九州市地域福祉活動第五次計画～住民ふくしの元気プラン～」を効果的に推進させるため、民生委員・児童委員協議会や社会福祉施設等と連携しながら、高齢者、生活困窮者、認知症のある人、引きこもり等の課題を抱えた人たちを支援するために、地域コミュニティに福祉の視点で取り組む人材の養成・育成を目指し、研修の充実を図りました。

今年度、重点的に取り組んだ「ふくしのまちづくり講座」では、各校(地)区主導の基に地域の人材発掘や地域の課題発見、解決を進めていき、地域住民による「地域単位での生活支援力」を高めていきました。

また、「社会福祉法人の社会貢献活動セミナー」・「企業の社会貢献活動セミナー」では、社会福祉法人・企業等に地域の一員として貢献活動となることの意義・重要性等を学ぶ中で、社会貢献活動に対する意識向上に努めることができた研修となりました。

平成30年度7月豪雨では、北九州市も被害にあう中で、市民の防災に対する関心はさらに高まりを見せ、その中で実施した「災害ボランティア・フォローアップ研修」では、本市での活動報告や他都市の災害ボランティアセンター等の組織についての講義、ボランティアセンターの各班の役割について学ぶことで災害時に備えた体制づくりを視野に、研修を実施しました。

研修全般では、本会の基本理念である「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」の実現に向け、ボランティア活動の推進や地域福祉の向上に務めながら、関係機関・団体との連携のもと、延べ2,998人に対し研修を実施することができました。

2 研修実施状況一覧

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

- まちづくりセミナー 詳細 No.1
- ふくしのまちづくり講座 詳細 No.2～12

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
まちづくりセミナー	市民	1	5	5	147	6～8
ふくしのまちづくり講座	校区住民	11	2～4	31	1,069	7～3
計		12	—	36	1,216	—

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

① 入門者

- 福祉有償運送運転協力者研修 詳細 No.13～18
- 傾聴ボランティア養成講座 詳細 No.19
- 私にもできる災害ボランティア入門講座 詳細 No.20

② 活動者

- 送迎ボランティア・フォローアップ研修（実技） 詳細 No.21
- 送迎ボランティア・フォローアップ研修（座学） 詳細 No.22
- 傾聴ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.23
- 災害ボランティア・フォローアップ研修 詳細 No.24

③ リーダー

- ボランティアリーダー研修 詳細 No.25～26

	研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
入門者	福祉有償運送運転協力者研修	福祉有償運送実施団体で運転協力者を希望する者	3	2	6	74	6～3
	傾聴ボランティア養成講座	市民	1	2	2	99	8
	私にもできる災害ボランティア入門講座	市民	1	1	1	44	8
活動者	送迎ボランティア・フォローアップ研修（実技）	送迎ボランティア	1	1	1	13	10
	送迎ボランティア・フォローアップ研修（座学）	送迎ボランティア	2	1	2	43	9～10
	傾聴ボランティア・フォローアップ研修	傾聴ボランティア	1	1	1	27	5
	災害ボランティア・フォローアップ研修	災害ボランティア入門講座受講者等	1	1	1	27	9
リーダー	ボランティアリーダー研修	リーダー次期リーダー	2	1	2	19	10
計			12	—	16	346	—

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

① 新任者

- 新任福祉協力員等研修 詳細 No.27～33

② 現任者

- 現任福祉協力員研修 詳細 No.34～40
- 地域福祉活動専門研修 詳細 No.41

③ 役員

- 地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」 詳細 No.42
- 校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 詳細 No.43
- まちづくりゼミナール 詳細 No.44

研修名		受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
新任者	新任福祉協力員等研修	新任福祉協力員等	8	1	8	314	6～8
現任者	現任福祉協力員研修	現任福祉協力員等	7	1	7	313	9～12
	地域福祉活動専門研修	校(地)区社会福祉協議会の実務者	1	1	1	87	12
役員	地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」	校(地)区社会福祉協議会役員	1	1	1	496	10
	校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修	校(地)区社会福祉協議会新任役員	1	1	1	96	6
	まちづくりゼミナール	校(地)区社会福祉協議会・まちづくり協議会役員、民生委員等	1	3	3	48	9～11
計			19	—	21	1,354	—

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成

- 企業の社会貢献活動セミナー 詳細 No.45
- 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 詳細 No.46

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
企業の社会貢献活動セミナー	企業の社会貢献活動担当者等	1	1	1	23	1
社会福祉法人の社会貢献活動セミナー	社会福祉法人の社会貢献活動担当者等	1	1	1	22	3
計		2	—	2	45	—

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

- ボランティアコーディネーター研修 詳細 No.47

研修名	受講者	開催回数	開催日数/回	延開催日数	延参加人数	開催月
ボランティアコーディネーター研修	施設・団体等でボランティアコーディネーションに関わる職員	2	1	2	37	6～7

3 資料作成

資料名	発行部数	発行日
「ひと&ひと」 (『きたきゅうしゅう市社協だより』掲載)	172,000部	平成30年5月1日・8月1日 11月1日・平成31年1月15日
パンフレット 「やさしさの広がるまちづくり」	4,500部	平成30年5月1日
平成29年度事業報告書	HP掲載	平成30年5月1日

4 過年度の参加者推移

(1) 新たなボランティア・市民活動の担い手の養成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成26年度	8	26	1,078
平成27年度	8	26	998
平成28年度	8	26	886
平成29年度	12	39	1,208
平成30年度	12	36	1,216

(2) テーマ型ボランティア・市民活動者の育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成26年度	9	14	305
平成27年度	9	14	306
平成28年度	9	14	263
平成29年度	12	16	340
平成30年度	11	15	346

(3) 小地域福祉活動者(地縁型ボランティア)の育成

年度	開催回数(回)	延べ開催日数(日)	参加実人数(人)
平成26年度	19	23	1,754
平成27年度	19	23	1,953
平成28年度	19	23	1,217
平成29年度	19	21	1,185
平成30年度	19	21	1,354

(4) 企業におけるボランティア・市民活動者の養成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 26 年度	1	1	18
平成 27 年度	1	1	30
平成 28 年度	1	1	102
平成 29 年度	2	2	69
平成 30 年度	2	2	45

(5) ボランティア・市民活動支援者の育成

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 26 年度	1	2	47
平成 27 年度	1	1	32
平成 28 年度	1	2	38
平成 29 年度	1	1	32
平成 30 年度	2	2	37

(6) 延べ研修参加人数

年 度	開催回数 (回)	延べ開催日数 (日)	参加実人数 (人)
平成 26 年度	38	66	3,202
平成 27 年度	39	66	4,050
平成 28 年度	38	66	2,506
平成 29 年度	47	80	2,900
平成 30 年度	46	76	2,998

— 平成 30 年度 —

まちづくりセミナー 実施要領

「楽しさ・生きがい・仲間づくり」 ～つどいの魅力を再発見！～

- 1 趣 旨** 元気に日々を送る秘訣は、仲間との会話や笑って過ごせる居場所があることです。誰もが楽しく集える「つどいの場」をボランティアの皆さんと一緒に作りませんか。
この講座では、「つどいの場」の実例・展望やつどいの場を盛り上げるレクリエーションの紹介など楽しいつどいの場づくりのお手伝いをします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 研修日程** 平成30年6月9日、6月23日、7月21日、8月4日、8月18日
土曜日（全5回）（10：00～12：00）
- 4 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1番6号）
- 5 対 象 者** テーマに関心のある方 30名（定員を超えた場合は抽選）
- 6 受 講 料** 700円
- 7 研修内容**

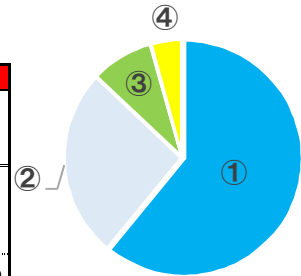
回 数	内 容	講 師 等
①	講 義 「どうして、つどいの場は必要？」 ～地域福祉の現状と課題～	九州大谷短期大学 福祉学科 学長 中村 秀一
②	実 技 「こころとからだを健康に」 ～つどいの場を盛り上げるレクリエーション技法～	ちーむ・レク☆さす 代 表 尾中 美穂
③	事例発表① 「気軽に立ち寄れる場所」 ～子ども・障害者の憩い～	社会福祉法人倫尚会 理事長 浦部 倫太 公益財団法人 北九州市身体障害者福祉協会 理事長 柴田 泰博
④	事例発表② 「いつまでも元気でわかかわかしく」 ～高齢者のよりどころ～	おとなりさんネットワーク「えん」 代 表 田代 久美枝
⑤	ワーク・まとめ 「地域にこんなところがあったらいいな」 ～わたしたちが行きたいつどいの場～	北九州市社会福祉ボランティア大学校 校 長 山崎 克明

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	39 人	24 人	147 人	68.4 才		5 日	10 時間
	14・25	61.5%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			満足 できた	どちらか 満足 できた	どちらとも 言えない	あまり 満足 できなかった	不満だった
	23 件 95.8%	満足 できたか?	14 60.9%	6 26.1%	2 8.7%	1 4.3%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福祉という言葉を重ねく受止めないで、前向きに取り組んでいくことを学んだ。 ■ 今日のように今を楽しく時間の過ぎるのを忘れる様な会を作りたいと思った。 ■ 心あふれる活動の紹介で未来を感じた。今日は参加出来て、本当に良かった。 ■ 知って、知らせて、つながろう とても心にひびきました。
------	---

■ 事業点検

点検・講評	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福祉に関すること、支援するというを理解し、ボランティアに関して知識を深めていきたいと思うきっかけとなったようだ。
(今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事例発表された場所へ、実際足を運んだり、ボランティアとして参加することになった受講生もおり、受講生自身の活動範囲も広がった。

■ 研修風景

どうして、しゃべり場は必要？		気軽に立ち寄れる場所	
ここからだと健康に		いつまでも元気でわかわかしく	

— 平成30年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・庄司校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
庄司校区では、参加者が自分の住んでいる地域について再確認し、それを活かしたまちづくりを学び、活動をさらに充実させることを 目的に、講座を開催します。
そして、これらの取り組みの過程で、地域でともに活躍できる仲間を増やすきっかけづくりやノウハウを習得することを目指します。
- 2 実施主体** 庄司校区・門司区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 一日目 庄司公民館（門司区老松町6-7）
二日目 福岡市立博多市民センター（福岡市博多区山王1-13-10）
- 4 対 象 者** 福祉協力員、民生委員・児童委員、社協役員、生活支援活動の担い手候補、地域生活支援相談員
地域にお住まいの方
- 5 受講料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなでつくる安心安全な庄司のまちづくり」
- 7 研修日程・内容**

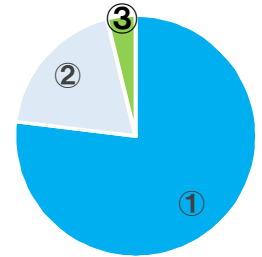
日 程		内 容	講 師 等
一日目 3月 11日 (月)	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	庄司校区社会福祉協議会
	19:00 ～ 19:50	「災害時の初期対応と被災者支援に おける地域福祉活動者の役割」	北九州市立大学 地域共生教育センター 特任教員 村江 史年
二日目 3月 24日 (日)	8:30 ～ 17:00	バス 視 察 講義・ワーク 「福岡市内の地域福祉活動及び 生活支援活動の推進状況と 庄司校区における生活支援活動の 進め方について」	門司区社会福祉協議会 主 事 宇都宮 慎吾 地域支援 Co 竹之内 洋子 庄司校区地域生活支援相談員

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	28 人	28 人	70 人	— 才		2 日	8 時間
	4・24	100.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回隣)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	27 件	満足 できたか?	20	5	1	0	0
	96.4 %		74.1 %	18.5 %	3.7 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他の地域の活動が学習できた。これからの活動の方向性を見つけられた。 ■ 地域の皆が協力できることを考える。 ■ 隣近所の付き合いの中で、声掛けをしたり、何か困ることがあれば、生活相談員の方に連絡して早めに解決できるように、協力したいと思います。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 他地区の取り組みについて話を聞く予定だったが、曜日が合わず、福岡市社協の取り組みと、萩市むつみ地区の元気支援隊の取り組みについて宇都宮主事がレジュメを用いて話をした。北九州と比較しながら、他地区の話をしていたので、大変分かりやすく、校区の方も真剣に話を聞いていた。 ■ グループワークでは、自己紹介をしながら、特技を披露したり、校区をよりよくする話し合いが行われていた。
--------------------	--

■ 研修風景

安藤会長挨拶		村江先生の講義	
他校区活動紹介の様子		校区の取り組み発表	

— 平成30年度 —

ふくしのまちづくり講座(門司区・藤松校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
藤松校区では、参加者が自分の住んでいる地域について再確認し、それを活かしたまちづくりを学び、活動をさらに充実させることを 目的に、講座を開催します。
そして、これらの取り組みの過程で、地域でともに活躍できる仲間を増やすきっかけづくりやノウハウを習得することを目指します。
- 2 実施主体** 藤松校区・門司区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 一日目 藤松公民館（門司区藤松1丁目24-12）
二日目 福岡市市民福祉プラザ
（福岡市中央区荒戸3丁目3番39号） 他
- 4 対 象 者** 福祉協力員、民生委員・児童委員、社協役員、
生活支援活動の担い手候補、地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「みんなでつくる安心安全な藤松のまちづくり」
- 7 研修日程・内容**

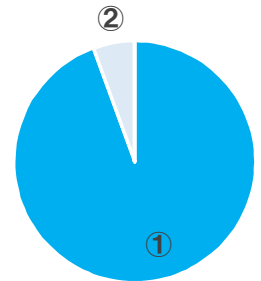
日 程		内 容	講 師 等
一日目 2月 15日 (金)	19:10 ～	開 会・オリエンテーション	藤松校区社会福祉協議会
	19:15 ～ 20:15	「災害に強いまちづくり」	門司消防署 門司西分署
二日目 3月 13日 (水)	9:00 ～ 17:00	バス視察	福岡市社会福祉協議会 地域福祉課職員
		講義・意見交換 「福岡市内の地域福祉活動及び 生活支援活動の推進状況について」	
		体験学習 「災害への備え」	福岡市市民防災センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	36人	36人	74人	—才		2日	8日
	—・—	100.0%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	36件		34	2	0	0	0
	100.0%		94.4%	5.6%	0%	0%	0%



主な意見	■ 具体的な対策が議論できて、防災意識の向上に役立った。防災グッズの話は有益であった。
	■ 改めて、水、災害について考えたことが良かったです。同じ地域に住む方々で情報を共有できて良かったです。
	■ 福岡市社協の活動に北九州にはないものがあり、興味をそそられた。
	■ 今後の活動に役立てたいと思います。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 1回目は消防署の方に来て頂き DIG 体験をした。情報交換もでき、みんなで災害について考えた。地域で協力して助け合う絆を認識できた。
	■ 2回目は福岡市社協の取組みや、政策について学んだ。生活支援ボランティアの活動内容や、料金の有無など参考になった。防災センターでの防災体験も、体験することで、防災意識がさらに高まった。

■ 研修風景

災害に強いまちづくり 2/15		福岡市社協 馬男木課長	
防災センター体験 ①		防災センター体験 ②	

— 平成30年度 —

ふくしのまちづくり講座(小倉北区・足立校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
 足立校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 足立校区・小倉北区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 足立市民センター（小倉北区宇佐町1-8-15）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「人生100年時代！？ポジティブ人生を歩むために！」
 ～住み慣れた地域で創る 心ゆたかな暮らし～

7 研修日程・内容

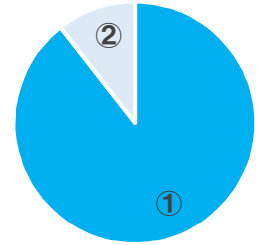
日 程		内 容	講 師 等
一日目 12月 13日 (木)	13:00 ～	開 会・オリエンテーション	足立校区社会福祉協議会
	13:10 ～ 15:00	「人生100年！ ずっと健康でいるために」 ～笑って！楽しく！レクリエーション～	ちーむ・レク☆さす 代 表 尾 中 美 穂
二日目 1月 17日 (木)	13:00 ～ 15:00	「いつまでもキレイで健康に！」 ～未来の自分を創造していくための今のケア～	日本メディケアリンパ協会 理事長 丸 尾 聖 美
三日目 2月 14日 (木)	13:00 ～ 14:30	元気の秘訣は地域活動にあり！ ～幸せな人間関係～	北九州市立大学名誉教授 臨床心理士 中 島 俊 介
	14:30 ～ 15:00	はじまりました！ 住民発「足立校区の元気プラン」	足立校区社会福祉協議会
	15:00 ～	閉 会	足立校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— 人	34 人	118 人	— 才			3 日	6 時間
	— ・ —	— %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そでない	全く そでない
	19 件		17	2	0	0	0
	55.9 %		89.5 %	10.5 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 人との交わりを積極的に大切にしていかなないと心を新たにした。
	■ わかりやすく地域の為にお話くださり、ありがたかった。
	■ まず聴く事を心がけようと思った。
	■ どのような活動をしているかが判った。
	■ 詳しく説明があり、少しでも手助け出来ればと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 集まりに慣れてない校区だが、レクリエーションやリンパケア等、体験型の講座を多く取り入れたことで、興味を持ってもらい、3回目の地域活動講座まで多くの人に参加していただけたと思う。 ■ これらもそれぞれの校区の特徴に合わせた計画作りをしていきたいと思う。
--------------------	--

■ 研修風景

レクリエーション		リンパケア	
元気の秘訣は地域活動にあり！		住民発足立校区の元気プラン	

— 平成 30 年度 —

ふくしのまちづくり講座（小倉南区・長行校区）実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
長行校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 長行校区・小倉南区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 長行市民センター（小倉南区徳吉西3-3-16）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方（全4回参加できる方）
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「逃げ友をつくろう！」

7 研修日程・内容

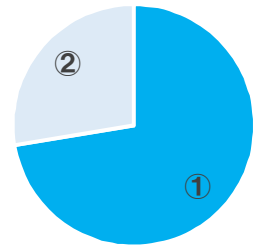
日 程		内 容	講 師 等
一日目	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	長行校区社会福祉協議会
10月 5日 (金)	19:10 ～ 21:00	「逃げ友をつくろう！」 ～災害が起こった時、あなたは いつ だれと逃げますか～	北九州市みんな deBousai まちづくり推進事業 ファシリテーター 古野 陽一
二日目	19:00 ～ 21:00	①大規模災害時の 避難所運営について ②福祉のまちづくりを知ろう	①北九州市危機管理室 ②小倉南区社会福祉協議会
三日目	8:00 ～ 13:00	①「北九州市総合防災訓練」 ～避難訓練を体験してみよう～ ②「災害ボランティアセンター の役割を知ろう」	①北九州市危機管理室 ②小倉南区社会福祉協議会
四日目	19:00 ～ 20:50	「つくってみよう！ 長行版 避難マニュアル」	北九州市みんな deBousai まちづくり推進事業 ファシリテーター 古野 陽一
12月 7日 (金)	～ 21:00	閉 会	長行校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	— —人	44 —人	186 —人	— —才			4 —日	11 —日

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	33 件	満足 できたか?	21	8	0	0	0
	75.0 %		63.6 %	24.2 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 防災意識がさらに高まった。 地域のつながりは大切だと改めて実感することができた。
	■ このような研修に参加できたことで、近所の人と何か起こった時の対応方法を一緒に考えることができた。
	■ 実際にボランティアセンターが開設されたときの流れを知る事ができ参考になった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 近年の豪雨などの影響から、災害について関心がある人が多かった。プログラムの中で社協について説明できたことで、活動について知ってもらうことができ、大変効果があったように感じるため、今後もタイムリーな話題を切り口にしながら、このような組み立てを行っていきたい。
	■ 市の事業を活用できたことで効果も高まったため、今後も連携しながら進めていきたいと思う。

■ 研修風景

逃げ友をつくろう！		災害ボランティアセンターの役割を知ろう	
福祉のまちづくりを知ろう		つくってみよう！ 長年版 防災マニュアル	

— 平成 30 年度 —

ふくしのまちづくり講座（若松区・青葉台地区） 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
 青葉台地区では、高齢者を取りまく現状を学び、自分達の住んでいるまちや、福祉のまちづくりについて感じていることを語る場を設けます。そして、福祉活動への関心を高めてもらうことで、活動してくれる新たな活動者の発掘を目指します。
- 2 実施主体** 青葉台地区・若松区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 青葉市民センター（若松区青葉台西1-14-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 青葉台のことをもっと知ろう
 ～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

7 研修日程・内容

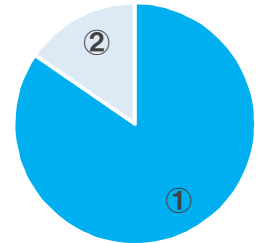
日 程		内 容	講 師 等
一日目 8月 30日 (木)	19:00 ～	開会・オリエンテーション	青葉台地区社会福祉協議会
	19:20 ～ 20:30	・知っておきたい認知症のこと ～認知症サポーター養成講座～	キャラバンメイト 山本 美江子
二日目 11月 29日 (木)	19:00 ～ 21:00	・青葉台の未来について話そう	若松区社会福祉協議会
三日目 12月 8日 (土)	13:00 ～ 16:00	・福祉協力員とは？ ・レクリエーションを通じて 多世代交流を図ろう	若松区社会福祉協議会 青葉台地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	43 人	163 人	— 才		3 日	7 時間
	— ・ —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	28 件		26	2	0	0	0
	65.1 %		92.9 %	7.1 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 認知症の方への対応の仕方がわかった。
	■ これからの青葉台に向けて活気ある有意義な建設的な話ができただ。
	■ 様々なカードがあり、意見をあげて下さいと言われても、思いつかないものが多い、大変わかりやすかった。最終的にはご近所の繋がりが強くなれば解決できる。
	■ 他の地域に比べ、自治会などがしっかりしている地域。
	■ 世代を超えて交流が出来てよかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 認知症サポーター養成講座で認知症について学び、次の回はカードワークで地域課題について考えた。様々な意見が出て、積極的に取り組む姿勢が印象的だった。
	■ 台風の為一回延期し、最後はふれあい交流会だったが、お年寄りから子どもまで一緒になって交流が深まっていた。 地域住民が町を良くしていこうと考える機会になったとおもう。

■ 研修風景

認知症サポーター養成講座①		青葉台の未来について話そう②	
グループカードワーク②		ふれあいレクリエーション	

— 平成 30 年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・枝光第二地区) 実施要領

1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。

枝光第二地区では、講座を通して、計画づくりの意義と必要性等の理解を深めたり、参加者の皆さんであらためて地域のことを学んだりしながら将来を見据えて計画策定を進めてまいります。

2 実施主体 枝光第二地区・八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 会 場 枝光市民センター（八幡東区日の出1-5-11）

4 対 象 者 地域にお住まいの方

5 受 講 料 無料

6 タイトル 「みんなでつくる！うごかす！枝光第二の元気プラン」

7 研修日程・内容

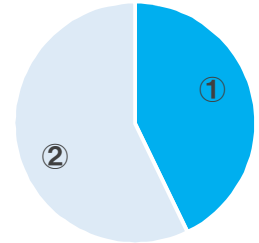
日 程		内 容	講 師 等
一日目 10月 11日 (木)	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	枝光第二地区社会福祉協議会
	19:10 ～ 20:30	「小地域福祉活動計画って どんなもの？」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎
二日目 3月 14日 (木)	18:00 ～ 21:00	「5年後、10年後の 地域を考える」	八幡東区社会福祉協議会 主事 梶原 吉恵
	～ 21:00	閉 会	枝光第二地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 研修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	13 人	30 人	— 才		2 日	5 時間
	— ・ —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	7 件		3	4	0	0	0
	53.8 %		42.9 %	57.1 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 他地区の計画の事例を交えてお話をいただいたので、イメージがわいた。
	■ 計画を作るときの話し合いが重要だと気付く事ができた。
	■ 地域の良い点・改善点について、みんなで話すことが出来てよかった。これからも地域の会議を活用して話し合いを継続していきたい。
	■ 枝光第二地区の今後の方向性がわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 計画を策定した際の実体験などのエピソードは、参加者にとってイメージがわきやすく、参考になったように感じた。
	■ 計画策定の意義が地区に伝わり有意義な話し合いが行われたようなので、今後の枝光第二地区の発展が期待できる。

■ 研修風景

開会挨拶		小地域福祉活動計画の意義	
小地域福祉活動ってどんなもの？		5年後、10年後の地域を考える	

— 平成 30 年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡東区・尾倉第一地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
尾倉第一地区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流を深めることで、ボランティアへの関心を高めてもらふことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 尾倉第一地区・八幡東区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 天神市民サブセンター（八幡東区天神町4-24）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「安心安全なまちづくり 見守り・助け合いの尾倉第一地区」

7 研修日程・内容

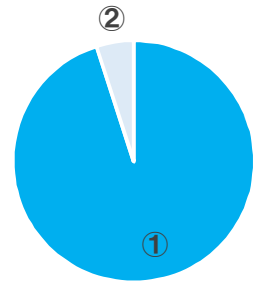
日 程		内 容	講 師 等
一日目	18:30 ～	開 会・オリエンテーション	尾倉第一地区社会福祉協議会
11月 19日 (月)	18:40 ～ 20:00	「認知症を理解しよう！」	キャラバンメイト 猪熊 和 仁
二日目	19:00 ～ 20:30	「人生おわりのためにはじめること」 ～看取り看取られるあなたへ～	八幡薬剤師会 薬 剤 師 工 藤 信 孝
三日目	14:00 ～ 15:25	「地域での支え合いについて」 ～私ができること～	北九州市立大学 名誉教授 臨床心理士 中 島 俊 介
1月 26日 (土)	～ 15:30	閉 会	尾倉第一地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	—	30	82	—		3	5
	— 人	— 人	— 人	— 才		— 日	— 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	21 件	満足 できたか?	19	1	0	0	0
	70.0 %		90.5 %	4.8 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ これからは人と話し合ったり、身近な人と助け合いながら生活していきたい。
	■ 認知症の方に対する接し方がよくわかった。地域で見かけた場合は、優しく見守っていきたいと思う。
	■ 得た知識を家族やご近所の人に教えていきたい。
	■ この講座で学んだことをこれからの地域活動に生かし頑張っていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は大変好評であったが、プログラムに興味を持って参加してくれる人が多くいたので、プログラムに少しずつ社協活動についての事業説明をするなどの工夫をしていくことが必要だと感じた。
	■ また、地域の方々に意見交換ができるように、講義だけではなく、グループワークを組み込んだプログラム構成も考えていかなければならないと思った。

■ 研修風景

開会挨拶		人生のおわりのためにはじめること	

— 平成 30 年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・黒崎地区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、地区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
- 黒崎地区では、参加者が自分の住んでいる地域について再確認し、それを活かしたまちづくりを学び、活動をさらに充実させることを 目的に、講座を開催します。
- そして、これらの取り組みの過程で、地域でともに活躍できる仲間を増やすきっかけづくりやノウハウを習得することを目指します。
- 2 実施主体** 黒崎地区・八幡西区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 黒崎市民センター（八幡西区藤田4-1-1）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「元気な地域（黒崎）をつくる！」
- 7 研修日程・内容**

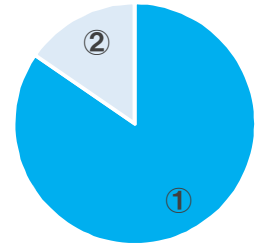
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 28日 (金)	13:00 ～	開 会・オリエンテーション	黒崎地区社会福祉協議会
	13:10 ～ 15:00	「まちづくりの仕掛けを学ぼう！」 ～目からウロコのまちづくり～	
二日目 10月 29日 (月)	13:00 ～ 15:00	「質の高い人間関係から生まれる、 あなたの幸せ！」	(株)まちづくり計画研究所 代表取締役 今 泉 重 敏
三日目 11月 16日 (金)	13:00 ～ 15:00	「ずっと黒崎で 暮らしていくために」	
	～ 15:00	閉 会	黒崎地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	24 人	83 人	— 才		3 日	6 時間
	— . —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そでない	全く そでない
	15 件 62.5 %		11 73.3 %	2 13.3 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 自分の地区で何が出来るだろうと考えることができた。
	■ 視点・見方を少し変えることで、できないこともできるようになると気付くことが出来たので、少しずつ自分でできることをしていきたい。
	■ 地域資源の活用し、まちを活性化させたい。
	■ 地域の方々と課題について話し合うことができたので、今後その課題は解決していけるように思えた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 各々の視点を変えることや少しのきっかけで地域を良くしていく仕組みを作ることができるということを学ぶことができたと思う。
	■ 校区の課題についてみんなで話し合い、解決方法を考え、それを実行することで、今後の黒崎地区の発展につながると感じた。

■ 研修風景

まちづくりの仕掛けを学ぼう！		ずっと黒崎で暮らしていくために①	
質の高い人間関係から生まれる、あなたの幸せ！		ずっと黒崎で暮らしていくために②	

— 平成 30 年度 —

ふくしのまちづくり講座(八幡西区・黒畑校区) 実施要領

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校区社協・区社協・市社協が協働で講座を開催するものです。
黒畑校区では、講座を通して、参加者が、あらためて地域のことを学んだり、活動者との交流をはかったりして、ボランティアへの関心を高めてもらうことを目的とし、地域で活躍できる新たなボランティアの獲得を図ります。
- 2 実施主体** 黒畑校区・八幡西区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 黒畑市民センター（八幡西区幸神3-4-3）
- 4 対 象 者** 地域にお住まいの方
- 5 受 講 料** 無料
- 6 タイトル** 「人生100年！ このまちに、もっと住みたい！黒畑
～幸せあふれる福祉のまちをめざそう～」

7 研修日程・内容

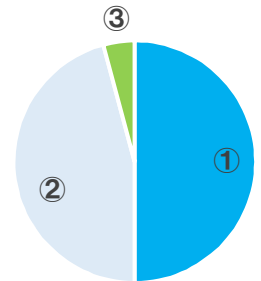
日 程		内 容	講 師 等
一日目 9月 3日 (月)	19:00 ～	開 会・オリエンテーション	黒畑校区社会福祉協議会
	19:10 ～ 21:00	「人生100年！ ずっと健康でいるために」	ちーむ・レク☆さす 代 表 尾中 美穂
二日目 10月 1日 (月)	19:00 ～ 21:00	「もうイライラしない！ 怒りと上手に付き合う方法」	アンガーマネジメント協会 講 師 山本 耕一
三日目 11月 5日 (月)	19:00 ～ 21:00	「幸せあふれる 福祉のまちをめざそう」	北九州市立大学 地域創生学群 准教授 坂本 毅啓 八幡西区社会福祉協議会
	～ 21:00	閉 会	黒畑校区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	29 人	109 人	— 才		3 日	6 時間
	— . —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	24 件		12	11	1	0	0
	82.8 %		50.0 %	45.8 %	4.2 %	0 %	0 %



主な意見	■ 一人暮らしにとって、研修に参加し、みんなと知り合うことができ、今後近所で会ったときに挨拶が出来る関係が出来て良かった。
	■ これからの黒畑についてみんなで話し合うことができ、それぞれの意識が高まったように感じた。
	■ まちづくりを促進する手がかりとなった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は大変好評であった。1日目・2日目のプログラムに興味を持って参加してくれる人が多くいたので、プログラムに少しずつ社協活動についての事業説明をするなどの工夫をしていきたいと思う。
	■ ワークなどを通じて、同じ地区内で情報交換をし、顔の見える環境づくりをすることは今後の地域づくりをしていく上で重要になると感じた。

■ 研修風景

ずっと健康でいるために 人生100年！		幸せあふれる福祉のまちづくり①	
もうイライラしない！ 怒りと上手に付き合う方法		幸せあふれる福祉のまちづくり②	

— 平成30年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区・南沢見地区）実施要領

お助け隊結成 大作戦！

- 1 趣 旨** 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。
- 南沢見地区では、平成29年度に「小地域福祉活動第一次計画」を策定し、地域住民同士で暮らしを支えあう、お助け隊の立ち上げを計画しました。今回の講座は、お助け隊の立ち上げを通じて、多様な関係者との連携・協働による生活支援活動の円滑な推進を支援することを目的に実施します。
- 2 実施主体** 南沢見・戸畑・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 会 場** 北九州市立沢見市民センター（戸畑区小芝2-1-4）
- 4 対象者** 南沢見地域にお住まいの方
- 5 受講料** 無料
- 6 研修日程・内容**

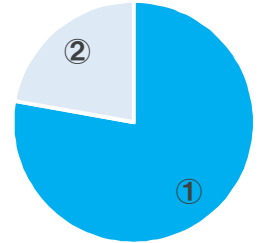
日 程		内 容	講 師 等
一日目 1月 28日 (月)	19:00	開 会 オリエンテーション	南沢見地区社会福祉協議会 会 長 中山 照美
	19:15 ～ 21:00	【講義】 「お助け隊を立ち上げるために！」	国立大学法人 九州大学大学院 人間環境学研究院 教 授 高野 和良
二日目 2月 16日 (土)	13:30 ～ 15:30	【講義】 「他都市の取り組みを 聞いてみよう！」	萩市社会福祉協議会 むつみ事務所 むつみ元気支援隊 隊 長 山田 和男 副隊長 中原 誠子
三日目 3月 8日 (金)	19:00 ～ 21:00	【演習】 「お助け隊 作戦会議！」	南沢見地区社会福祉協議会 戸畑区社会福祉協議会
	21:00	閉 会	南沢見地区社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	23 人	77 人	— 才		3 日	6 時間
	—・—	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そでない	全く そでない
	18 件		14	4	0	0	0
	78.3 %		77.8 %	22.2 %	0%	0%	0 %



主な意見	■ お助け隊の具体的なイメージができ、理解も深まった。
	■ 活発な意見交換で南沢見のパワーを感じ、きっとお助け隊もいい方向にいくと思う。
	■ この活動が定着したらいい町になると思う。
	■ 色々な考え、制度など幅広い意見が出て、有意義で勉強になった。
	■ グループに分けての話し合いは良かった。色々な意見が出て良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 他都市の方をお招きした講習では、よりお助け隊を具体的にイメージ出来たという意見が多く、その加勢もあり3回目のワークでは活発な意見交換ができた。
	これからも閉鎖的にならず、積極的に他地区他都市の取り組みを共有、交換できる場を設け、意欲や熱意をより具現化できる講習を構成していきたい。

■ 研修風景

お助け隊を立ち上げるために！		他都市の取り組みを聞いてみよう！	
お助け隊 作戦会議①		お助け隊 作戦会議②	

— 平成30年度 —

ふくしのまちづくり講座（戸畑区・三六地区）実施要領

「ふれあいネットワークをもっと知ろう！」

1 趣 旨 「ふくしのまちづくり講座」は、地域の福祉活動を進めるため、地域の課題解決や新たな人材の獲得を目指し、校(地)区社協・区社協・市社協が協働で開催するものです。

三六地区では、ふれあいネットワーク活動の再整備を図り、新たな生活支援のしくみづくりに向けた取り組みを進めていくため、改めて住民全体のふれあいネットワーク活動（3つのしくみ）における「協議の場」の重要性について考える講座を開催します。

2 実施主体 三六地区・戸畑区・北九州市社会福祉協議会、北九州市

3 会 場 三六市民センター（戸畑区小芝3-12-2）

4 対 象 者 地域にお住まいの方

5 受 講 料 無料

6 研修日程・内容

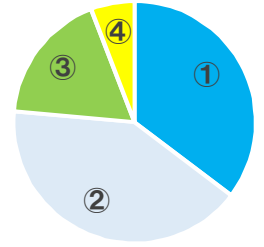
日 程		内 容	講 師 等
一日目 11月 26日 (月)	19:00 ～	開 会	三六地区社会福祉協議会 会 長 松尾 定俊
		オリエンテーション	戸畑区社会福祉協議会 北九州市社会福祉協議会
	19:10 ～ 20:30	【講義】 「ふれあいネットワーク活動って 何だろう？」	公立大学法人 福岡県立大学 社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎
二日目 12月 3日 (月)	19:00 ～ 20:30	【事例発表】 「となりの地区の活動を聞いてみよう！ ほんとはスゴい連絡調整会議の ヒミツ！」	戸畑区 天籟寺地区社会福祉協議会 会 長 福田 泰治
三日目 1月 18日 (金)	19:00 ～ 20:30	【グループワーク】 「三六ならではの“連絡調整会議”を つくろう！」	公立大学法人 福岡県立大学 社会福祉学科 准教授 村山 浩一郎 三六地区社会福祉協議会 戸畑区社会福祉協議会
	20:30	閉 会	三六地区社会福祉協議会 副会長 大場 信二

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	— 人	21 人	77 人	— 才		3 日	6 時間
	— . —	— %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そでない	全く そでない
	18 件		6	7	3	1	0
	85.7 %		33.3 %	38.9 %	16.7 %	5.6 %	0 %



主な意見	■ 見守りや助け合いに加わりたい。
	■ 活動での疑問、不安が共有できる話合いの場は必要だと思う。
	■ まずは高齢化が進む中、自分自身も見守られる立場にあること、お互いさまの気持ちで近所とのお付き合いをしたいと思う。
	■ この機会でもちづくりについて理解を深める事ができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回は、民生委員や福祉協力員でもない方も参加していただいたが、1回目はテーマの根底を考え、2回目は活動者の発表を聞き、3回目は実施を行うための話し合いと順を追って講習を構成し、理解・意欲が増した意見が多く見受けられた。これからも新たな担い手を増やすために基盤の講習を組み込みたいと思った。
--------------------	--

■ 研修風景

ふれあいネットワーク活動って何だろう		グループワーク①	
事例発表		グループワーク②	

— 平成30年度 第1回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成30年6月10日(日) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家（北九州市若松区大字竹並 126-2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 20人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

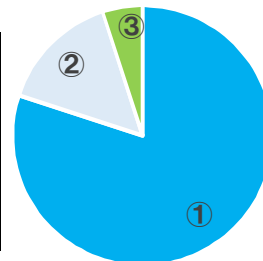
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ 永田 淳	
12:00~12:50	休憩			グラウンド
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接客技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師	
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	21 人	21 人	21 人	45 才			1 日	9 時間
	9・12	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも言 えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	20 件	満足 できたか?	16	3	1	0	0
	95.2 %		80.0 %	15.0 %	5.0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 難しい関連法規について、分かりやすく解説していただいて、よく理解できた。
	■ 事故を起こした時の不注意が、画像で見てよくわかった。
	■ 様々な障害の疑似体験を通して、不自由さを感じることができ、障害者を理解する上で大きな手助けとなった。
	■ 実際に車いすに乗る、車いすを自動車に乗せるという、とても貴重な体験をした。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義は、具体的な事例やクイズ形式など分かり説明だった。
	■ 目が見えない人の疑似体験や、手すりや杖を使っての実技は体験してみることで、どのような介助をすればいいか、参考になった。
	■ 福祉自動車に車いすで乗ることで、大きな揺れを体感でき利用者の立場になった送迎サービスを実践する上で勉強になった。
	■ 駐車場の誘導や、受付などは混乱もなくできた。

■ 研修風景

関係法令等 貞包 健一 氏		運転方法の講義 永田 淳 氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法(演習)	

— 平成 30 年度 第 1 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成30年6月16日(土) 9:15~11:45
ウェルとばた（北九州市戸畑区汐井町1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 20人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

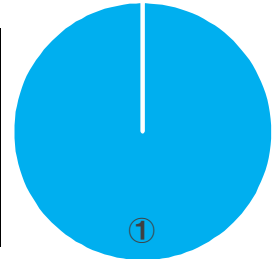
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・1 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・1 研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	5人	5人	5人	47.8才			1日	3時間
	2・3	100.0%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	5件 100.0%	満足 できたか?	5 100.0%	0 0%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 新しい知識をたくさん知ることができた。 ■ 福祉車両型の研修とはまた違った内容で今後の活動に役立てていけたらと思う。 ■ 実際のセダンタイプの車を見ながら、どういった面に注意して乗降介助すべきか学ぶことができて良かった。
------	--

■ 事業点検

点検・講習 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身体の動きの基本となる重心移動の話など介助をする上でわかりやすい講義だった。 ■ 車の座席の高さ広さなど、改めて認識することが多く、体験型学習は必要だと思った。 ■ セダン型の受講生は少ないが、参考になることが多いので周知を工夫したい。
--------------------	--

■ 研修風景

講義		実技 ①	
実技 ②		修了証書授与式	

— 平成 30 年度 第 2 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成 30 年 1 月 10 日（土） 9：15～18：25
北九州市立玄海青年の家（北九州市若松区大字竹並 126-2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去 2 年以内において停止されていない者であって、免許取得から 3 年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 20 人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

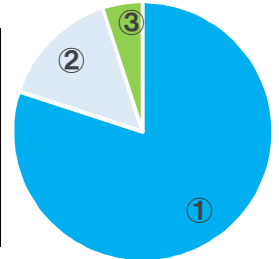
時間	内容		講師	研修会場
9：15～9：20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		研修室
9：20～10：10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10：15～11：05		安全・安心運行と緊急時対応		
11：10～12：00		運転方法		
12：00～12：50	休憩			
12：50～13：40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13：45～14：45		介護技術		
14：50～15：50		基礎的な接客技術		
15：55～16：55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師	グラウンド
17：00～18：20		福祉自動車運転方法(演習)		
18：20～18：25	閉会	まとめ		研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	18人	16人	16人	48.7才		1日	9時間
	9・12	100.0%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	16件 100.0%	満足 できたか?	13 81.3%	3 18.7%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 安全運転の大切さを改めて認識した。
	■ 実態に基づく話で大変参考になった。
	■ 実際にあった事故の実例などをドライブレコーダーの映像などを見て見れたのがよかったです。
	■ 車いすに乗っている人、運転する人の両体験が出来、色々な視点で学べてよかった

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 手すりや杖を使い歩行困難な場合の体験、視覚障害の体験など実際に体験することによって、どのような介助をすればよいか参考になった。
	■ 野外は4グループに分かれ、1グループ4人で実習した。講師は、受講生に乗車、運転など丁寧に指導した。
	■ 駐車場の誘導や、受付はスムーズだった。スリッパなどの忘れ物をしている人が多く、受講決定通知書に案内書を同封しているが次回は字を大きくするなどの工夫したい。

■ 研修風景

関係法令等 貞包 健一 氏		運転方法の講義 永田 淳氏	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法(演習)	

— 平成 30 年度 第 2 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成30年11月11日(土) 9:15~11:45
ウェルとばた（北九州市戸畑区汐井町1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 20人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

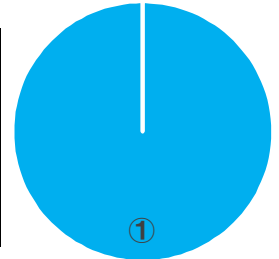
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・1 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	まとめ		12H・1 研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	7 人	7 人	7 人	57.9 才			1 日	3 時間
	4・3	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	7 件	満足 できたか?	7	0	0	0	0
	100.0 %		100.0%	0%	0%	0%	0%



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 普段使っている車の介助からの視点からよく理解できた。 ■ 自分の目で見て学べて、普段意識しない車の作りがわかった。車の構造がわかったうえで、利用者に適切な介助を行う大切さがわかった。色々なケースを自分の頭で考え、何が適切か利用者の立場に立って考えることの大切さがわかる有意義な時間でした。
------	---

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 身体の動き、重心移動、支持基底面の話しなど介助をする上でわかりやすい講義だった。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 福祉車両ではない車の座席の高さ、ドアの開閉角度など改めて認識し、体験型学習は必要だとも思った。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ セダン型の受講生は少ないが、参考になることが多いので周知を工夫したい。

■ 研修風景

講 義		実 技 ①	
実 技 ②		修 了 証 書 授 与 式	

— 平成 30 年度 第3回 —

福祉有償運送運転協力者研修【福祉車両】開催要項

- 1 目的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成31年3月2日(土) 9:15~18:25
北九州市立玄海青年の家（北九州市若松区大字竹並 126-2）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定員** 20人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

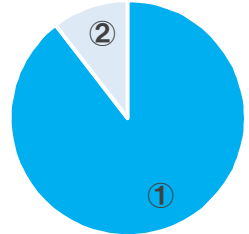
時間	内容		講師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		研修室
9:20~10:10	講義	関係法令等	北九州タクシー協会 副会長 貞包健一	
10:15~11:05		安全・安心運行と緊急時対応		
11:10~12:00		運転方法	ヘルパーステーション ほほえみ 永田 淳	
12:00~12:50	休憩			
12:50~13:40	講義	障害の知識及び利用者理解	作業療法士 熊添潤一	
13:45~14:45		介護技術		
14:50~15:50		基礎的な接客技術		
15:55~16:55	実技	福祉自動車の特性	ヘルパーステーション ほほえみ 派遣講師	グラウンド
17:00~18:20		福祉自動車運転方法(演習)		
18:20~18:25	閉会	まとめ		研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	22 人	21 人	21 人	49.9 才			1 日	9 時間
	11・11	95.5 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	20 件	満足 できたか?	17	2	0	0	0
	95.2 %		85.0 %	10.0 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 概要、法令等細やかな知識が得られました。 ■ ポイントを具体的に交えつつ、説明していただきわかりやすかった。 ■ 実例を交えての講習もあり、よかったです。 ■ 自ら体験することで、色々なことを感じ、学びを深めることができた。
------	---

■ 事業点検

点検・講習 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 関係系法令の話など、分かりやすく丁寧に話しをされていた。 ■ 2人1組で目をつぶり、廊下を歩く視覚障害の体験や、手すりや杖を使い歩行困難な場合の体験など、参考になったようだ ■ 駐車場の誘導や、受付はスムーズだった。心配していた雨も降らずに実技を終えることが出来た。
--------------------	---

■ 研修風景

関係法令等 貞包 健一 氏		障害の知識及び利用者理解	
障害の知識及び利用者理解		福祉自動車運転方法 (演習)	

— 平成 30 年度 第 3 回 —

福祉有償運送運転協力者研修【セダン型】開催要項

- 1 目 的** 道路運送法施行規則により、福祉有償運送で運転協力者として活動する場合には、国土交通大臣が認定する講習を修了することが必要となります。
このため、運転協力者となることを希望する方に対し、福祉有償運送運転に必要な知識・技術の習得を目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市（国自旅第262号認定）
- 3 日時・会場** 平成31年3月3日(日) 9:15~11:45
ウェルとばた（北九州市戸畑区汐井町1-6）
- 4 参加対象** 福祉有償運送実施団体の運転協力者となることを希望する方等
※ただし、第一種運転免許を有し、且つ、その効力が過去2年以内において停止されていない者であって、免許取得から3年以上の実車経験がある者
- 5 定 員** 20人（定員を超える申込があった場合は調整）

6 研修内容

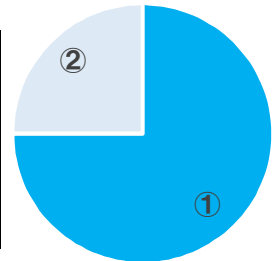
時 間	内 容		講 師	研修会場
9:15~9:20	開会	開会挨拶・オリエンテーション		12H・1 研修室
9:20~10:10	講義	利用者理解及び乗降介助等の対応	作業療法士 熊添潤一	
10:20~11:40	実技	利用者理解及び乗降介助等の対応		
11:40~11:45	閉会	ま と め		12H・1 研修室

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	4人	4人	4人	63.5才		1日	3時間
	1・3	100.0%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか とも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	4件 100.0%		3 75.0%	1 25.0%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 車イスの経験は少しありますが、知らないことが多く、参考になりました。
	■ 車の状態での対応の仕方がわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 普段使っている車の介助からの視点が良く理解できた。
	■ 福祉車両ではない車の座席の高さ、ドアの開閉角度など改めて認識し、体験型学習は必要だとも思った。

■ 研修風景

講義		実技①	
実技②		実技③	

— 平成 30 年度 —

「傾聴ボランティア」養成講座 実施要領

- 1 目 的** 単に話を「聞く」のではなく、心をこめて「聴く」ことで、人の心を癒すことができます。
本講座では「聞き上手」から「聴き上手」になるためのコツを学び、相手の心に寄り添うことの出来るボランティア活動をめざします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I研修室（戸畑区汐井町1番6号）
※駐車場の台数に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者** 受講後の傾聴ボランティア活動に意欲的な方（定員40名）
※応募者多数の場合は抽選させていただきます。あらかじめご了承ください。
- 5 受 講 料** 700円（研修初日にお渡しする納付書により、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 平成30年8月7日（火）・8日（水）二日間

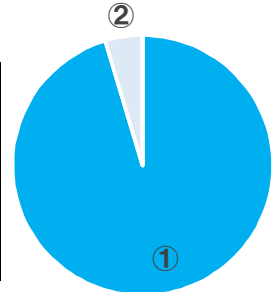
日 時		内 容		講師等
8月7日 (火)	09:30～	受 付		
	09:45～	開 講・オリエンテーション		北九州市社会福祉協議会
	10:00～ 10:15	基 礎 編	事 業 紹 介 ボランティア活動について	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	10:15～ 12:00		「 傾 聴 」 と は	臨床心理士 シャルマ 直美
	12:00～		昼休み	
	13:00～ 16:00		ロールプレイを通じて 傾聴体験してみよう	
8月8日 (水)	09:15～	受 付		
	09:30～ 12:00	応 用 編	話の内容を正確に受け止めよう	臨床心理士 シャルマ 直美
			共 感 的 に 聴 こ う	
	12:00～	応 用 編	昼休み	
	13:00～ 14:00	応 用 編	施設が求めるボランティアとは	サポートセンター門司 施設長 中村 順子
	14:00～	応 用 編	休 憩	
	14:15～ 15:45	応 用 編	傾聴ボランティア活動の実際 《活動発表》	傾聴ボランティアグループ
～16:00	閉 講		北九州市社会福祉協議会	

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	54 人 4・50	50 人 92.6%	99 人	64.4 才			2 日	12 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらか 言えない	どちらか 言う と そうでない	全く そうでない
	45 件 90.0%	満足 できたか?	41 91.1%	2 4.4%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 傾聴について詳しく知ることができたし、生きていく中で自分自身や相手にも すごく大切なことを学ぶことができて良かった
	■ 「聞く」と「聴く」の違い、相手（話し手）の心に添って話を聴く大切さ、話し手 の反応等、確認しつつ聴く事など、勉強になりました。
	■ 今後の高齢者問題、人手不足など傾聴ボランティアの意識、今後の活動の必要性に ついて大切な活動であることを感じました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ ボランティア活動についての基本的な話の後、傾聴の講義に入ったので、ボラン ティアの意識が高まり、活動意欲につながったようだ。
	■ 傾聴ボランティア活動者に研修サポーターとして講座に関わってもらい、最後に 活動体験の案内を設けた事で実際に活動する場を提供することができた。
	■ 今後、この講座から何人の活動者が登録されたか追跡調査を行う。

■ 研修風景

講 義 ①		講 義 ②	
グ ル ー プ ワ ー ク		講 座 サ ポ ー タ ー 発 表	

— 平成 30 年度 —

私にもできる「災害ボランティア」入門講座 実施要領

- 1 目的** 近年、各地で災害が頻発していますが、その復旧活動等において、大きな力となり、活躍しているのが災害ボランティアです。
 災害時の基礎知識や適切な対処活動に活かすことを目的とし、身近なところで災害が起きた時の役割・備え・心構えについて学び、地域で協力し支え合うことについて考えます。
 本講座では、まずさまざまな災害ボランティア活動をご紹介します。そして、その中から「私にもできる活動」を見つけてもらい、いざという時の活躍の準備をお手伝いします。
- 2 実施主体** 小倉北区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会場** 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」5階大セミナールーム（小倉北区大手町11番4号）
- 4 対象** 災害ボランティアに興味のある方 **【定員40名】**
- 5 日時・内容** 平成30年8月28日（火）

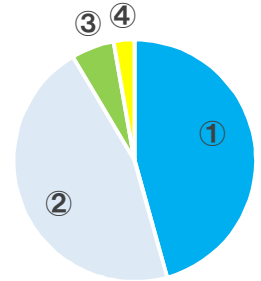
時間	内容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開会	小倉北区社会福祉協議会
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:10～ 13:50	講義1 知って安心、災害への備え	北九州市 危機管理室
～13:55	休憩	
13:55～ 14:35	講義2 災害ボランティア活動の基礎知識	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
～14:45	休憩	
14:45～ 16:20	講義3 助け上手と助けられ上手 ～災害ボランティア活動における支援力と受援力～	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	～今後の活動について：ボランティア登録等～	
～16:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 等 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	41 17・24 人	44 107.3 %	44 人	52.9 才		1 日	4 日

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	36 件 81.8 %	満足 できたか?	16 44.4 %	16 44.4 %	2 5.6 %	1 2.8 %	0 0 %



主な意見	■ ごく身近な問題として、参考になりました。また詳しく勉強できればと思います。
	■ グループ分けのテーブルだったので、他の地域の方に、災害時の取りくみについて情報を聞くことができ良かったと思います。北九州の水害と地震について色々知ることができました
	■ ボランティア市民活動センターが発足して、いつでもボランティア活動ができるようになり、必要に応じてボランティアの人に声かけしてくれることが可能になり、私達も動きやすくなったと感じます。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の研修で、4名のボランティアの登録に至った。
	■ 今回は入門講座だが、受講者のアンケート結果より、入門講座の内容より一歩手前の内容(災害時どう行動すべきか)、一歩踏み込んだ内容(今どこでボランティアを必要としているか)を聞いたかった旨が受け取れた。次回は、受講者が知りたいであろう情報についても考慮しつつ、研修内容を工夫したい。

■ 研修風景

開会挨拶		災害ボランティア活動の 基礎知識	
知って安心、災害への備え		助け上手と助けられ上手	

— 平成 30 年度 —

送迎ボランティア・フォローアップ研修 実施要領 (実技)

- 1 趣 旨** 福祉有償運送事業等において活躍している送迎ボランティアを対象に、今後も安全で利用者が安心できる送迎活動を継続できるよう、活動者のスキルアップを目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 共 催** 各区社会福祉協議会
- 4 会 場** 城野自動車学校（北九州市小倉北区霧ヶ丘1丁目15番1号）
- 5 対 象 者** 送迎ボランティア活動者 30名
- 6 受 講 料** 700円
- 7 日時・内容** 平成30年10月21日（日）

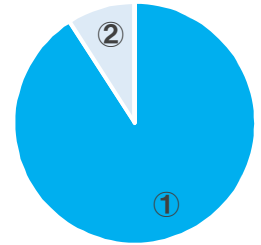
時 間	内 容	講 師 等
09:45 ～10:00	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
10:00 ～11:45	【講義・実技】 「より安心・安全運転のために」 ～運転行動の変化について～ 「車いすの取扱いについて」 【実 技】 「運転チェック及びアドバイス」 ～福祉車両用コース～	城野自動車学校
11:45 ～12:00	【全体講評】	
12:00 ～13:00	休 憩	
13:00 ～14:45	【講 義】 「利用者の特性を学ぶ」	作業療法士 熊添潤一
～15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	15 人	13 人	13 人	65.3 才		1 日	5 時間
	14・1	86.7 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	11 件	満足 できたか?	10	1	0	0	0
	84.6 %		90.9 %	9.1 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> 熊添潤一先生による我々の利用者皆さんの背景（おかれている状況）が詳しく体系的に講義いただき感謝いたします。 アドバイスして頂いた点、今後の運転にいかしたい 勉強になった。今後もまた参加したい。
------	--

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> 講義と実技は、どちらも安全運転をするための内容で参加者にとっては、有意義だったと思われる。 実技の運転チェックは普段受ける事がないので、注意箇所や、自分の癖など明確に指摘され、運転技術の再確認ができたと思う 今後のボランティア活動で、より安心して運転する為に必要な研修だと思われるので、今後も続けていきたい。
--------------------	--

■ 研修風景



— 平成 30 年度 —

送迎ボランティア・フォローアップ研修 実施要領 (座学)

- 1 目的** 虚弱高齢者の外出支援などを目的にスタートした「シルバーひまわりサービス事業」も、開始 23 年目を迎え、昨年度は、1,071 人のボランティアが 865 人の高齢者を支える市民にとって大切な事業に成長しました。
- 一方、道路交通法の改正により、福祉有償運送サービスに対する安全運行への指導も厳格さを増し、併せて、運転者等の担い手不足など、多くの課題も出て参りました。
- 本研修では、これらの現状や課題を送迎ボランティアの皆さんと共有する中で、更なる安全運行に資する研修として開催するものです。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 共 催** 各区社会福祉協議会
- 4 開催会場** ウェルとばた 12 階 H・I 研修室 (戸畑区汐井町 1 番 6 号)
- 5 対象者** 送迎ボランティア活動者及び登録者 【定員 40 名】
- 6 日時・内容** 第 1 回 平成 30 年 9 月 8 日 (土)
第 2 回 平成 30 年 10 月 31 日 (水)
- ※上記開催日のうち、ご都合の良い日に受講いただきます。

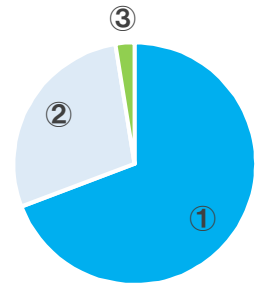
時間	プログラム	講師等
12:30~	受付	
13:00 ~13:10	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター
13:10 ~13:40	講義 1 「送迎ボランティア活動の現状と課題」 「安心・安全運行に心がける送迎事業」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
13:40 ~14:30	講義 2 「安全に運行するための配慮や技法」	こくら南サポーターズ 会 長 井 上 俊 二
14:30 ~14:35	休 憩	
14:35 ~15:25	講義 3 「利用者が安全に乗降し快適に 乗車するための配慮や技法」	ヘルパーステーションほほえみ 課 長 永 田 淳
~15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	45人	43人	43人	68.1才		2日	6日
	29・16	95.6%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	39件	満足 できたか?	27	11	1	0	0
	90.7%		69.2%	28.2%	2.6%	0%	0%



主な意見	■ 歴史や現状の活動が把握出来、良かった。
	■ 利用回数に対しての事故発生率の少なさに驚きました。これからの活動の参考にし、いっそう気を引き締めて取組に参加したい。
	■ 今以上に注意深く、責任感を持って送迎をしたいと思いました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 具体的な事例や、経験を踏まえての話しでわかりやすく、送迎ボランティアを行う上での参考になったようだ
	■ 今後のボランティア活動を行うにあたって、振り返り、再確認が出来たようで有意義な研修だと思う。
	■ 送迎ボランティアの高齢化に合わせての改善が必要だと思われる。

■ 研修風景



— 平成 30 年度 —

傾聴ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 目 的** 傾聴ボランティアとしてのスキルアップを図るとともに、活動者の抱える課題や疑問を解消するために、ワークを交えて学びます。
また、活動者同士の交流を通して今後のボランティア活動の活性化を目指します。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた12階H・I研修室
北九州市戸畑区汐井町1番6号
- 4 対 象 者** 地域で傾聴ボランティアとして活動している方 40名
- 5 受 講 料** 700円（研修日にお渡しする納付書により、後日、金融機関でお支払い下さい。）
- 6 日程・内容** 平成30年5月16日（水）

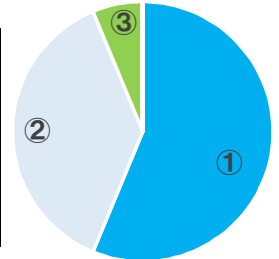
時 間	内 容	講 師 等
9:30～	受 付	
10:00～10:10	開 会	北九州市社会福祉協議会
	オリエンテーション	
10:10～10:20	ボランティア・市民活動センター の役割と機能	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
10:20～11:55	講 義・ワーク 施設のこともっと知りたい	介護老人保健施設 伸寿苑 老健部・連携広報部 部 長 井 上 崇
～12:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	30人	27人	27人	70.8才			1日	2時間
	5・25	90.0%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	20件 74.1%		9 45.0%	6 30.0%	1 5.0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 基本的な考えを教えていただいた。今からの活動を頑張りたい。
	■ ボランティア活動というものが有意義であると勉強になった
	■ 施設に行く上で勉強になった。
	■ 皆様の意見が聞けて参考になった
	■ その人らしさを認めていくという傾聴を心がけようと思った。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講師の経験に基づく講話は、受講生を引きつけていた。
	■ グループワークを取り入れることにより、より実践的な研修内容となった。
	■ 今後の傾聴ボランティア活動に有意義な話が聞けたと、受講生には好評だったが、40名定員で27名と定員に達しなかったため、来年度は早めに周知したい。

■ 研修風景

開 会 挨拶		ボ ラ ン テ ィ ア ・ 市 民 活 動 セ ン タ ー の 役 割 と 機 能	
施 設 の こ と を も っ と 知 り た い ①		施 設 の こ と を も っ と 知 り た い ②	

— 平成 30 年度 —

災害ボランティア・フォローアップ研修 実施要領

- 1 趣 旨** 近年の災害時においては、ボランティアが重要な役割を果たすとともに、被災地災害ボランティアセンターの設置により、円滑なボランティア活動が果たせるようになりました。
今回の研修では、最新の災害ボランティア活動状況等を学ぶとともに災害ボランティアセンターの機能等を再確認する中で、ボランティアとしての資質向上を図ります。
また学びの場を通じて、活動へのモチベーションを高め、災害時に備えて参ります。
- 2 実施主体** 戸畑区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとぼた12階H・I研修室（戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対 象 者** 「災害ボランティア」の経験者または、「災害ボランティア」に関する講座の受講経験のある方（「災害ボランティア入門講座」、「災害ボランティアセンター設置訓練」等） 【定員40名】
- 5 受講料** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年 9月 28日（金）

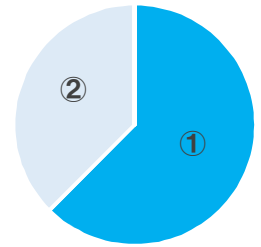
時 間	内 容	講 師 等
09:30～	受 付	
10:00～ 10:15	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:15～ 11:00	講 義 1 「北九州市の地域防災計画における ボランティアや地域住民のかかわり」	北九州市 危機管理室 危機管理課
11:00～ 12:00	講 義 2 「災害ボランティアへの期待」 ～地域福祉活動者や企業・団体などの役割・機能～	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
12:00～ 13:00	昼 休 み	
13:00～ 13:40	講 義 3 「大規模災害時における ボランティア活動の現状と課題」	一般社団法人 九州防災パートナーズ 代表理事 藤澤 健児
13:40～ 14:55	意見交換 「受講者それぞれの立場で 要支援者をどう支えるのか話し合おう！」	
14:55～ 15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	28 人	27 人	27 人	63.4 才		1 日	5 日
	18・10	96.4 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そのでない
	24 件	満足 できたか?	15	9	0	0	0
	88.9 %		62.5 %	37.5 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ ボランティアの重要性が良くわかりました。
	■ 有意義な研修をさせていただき、有難うございました。今後の活動に生かして行けるようにします。
	■ ボランティアを受ける側の受講も必要と思いました。
	■ 模擬活動等による問題点を見つけ出す訓練なども必要ではないでしょうか。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回の研修で、1名のボランティアの登録に至った。
	■ 20代、30代の参加申込もあったが、仕事の都合等で出席できない人が多かった。開催日、時間等を考慮すれば、若い世代の参加も増えるかもしれない。
	■ 意見交換では、各班で行ったグループワークの結果に対して、講師が講評、実体験を交えてのアドバイスを行ったが、受講生の関心が高かったように思われる。受講生のスキルが様々なため、講義、グループワーク、質疑応答、模擬活動など、いろんなアプローチで受講者の満足度が上がるような研修を企画していきたい。

■ 研修風景

北九州市の地域防災計画におけるボランティアや地域住民のかかわり		大規模災害時におけるボランティア活動の現状と課題	
災害ボランティアへの期待		受講者それぞれの立場で要支援者をどう支えるのか話し合おう	

平成30年度 ボランティアリーダー研修 実施要領

理想のリーダーシップとは何か

～ ボランティア団体における人間関係と活動上の課題を考える ～

- 1 趣 旨** グループの運営のあり方やリーダーとしての役割を学ぶことで、ボランティアリーダーとしての資質向上と次期リーダーの育成等について考える研修です。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 12H・I研修室（戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対象者** ボランティアグループの代表・副代表等の役員【定員30名】
（申込多数の場合は、抽選させて頂く場合もございます。）
- 5 受講料** 700円
- 6 日時・内容** 平成30年10月26日（金）

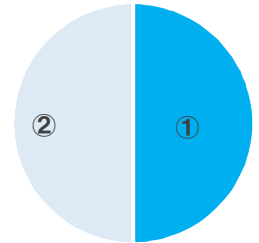
時間	内 容	講 師 等
09:30 ～	受 付	
10:00 ～	開会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:10 ～ 11:00	「地域包括ケアシステムと ボランティアの関わり」	北九州市 保健福祉局 地域福祉推進課 地域福祉担当 係 長 上田 郁
11:00 ～ 12:00	「ボランティアコーディネーターと ボランティアグループの関係」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
11:00 ～ 12:00	ワークショップ① 「今時のリーダーシップのあり方 について考える」	公立大学法人 北九州市立大学 地域創生学群 准 教 授 坂本 毅啓
12:00 ～	休 憩	
13:00 ～ 15:50	ワークショップ② 「グループをうまく活性化して いく中で求められるリーダーの 行動とは何か」	公立大学法人 北九州市立大学 地域創生学群 准 教 授 坂本 毅啓
～ 16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	20 人 9・11	19 人 95.0%	19 人	68.3 才			1 日	6 時間

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	17 件 89.5%		8 47.1%	8 47.1%	0 0%	0 0%	0 0%



主な意見	■ 大変有意義な研修だった。活動内容の違う方々と交流でき、思う事も多かった。講話も大変参考になった。リーダーとしての思いも改めて考えた。
	■ リーダーとして立っていくひとの大変さを想像することができ、先を見通す自分がいなければと思った。
	■ 数多くのボランティア活動があることを知って良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 全講義を通じてボランティアリーダーとしての心構えなどが学べたと思う。ワークでは、各グループで活動をまとめ発表しあい、互いの活動を知る事が出来るよい機会になったと思う。
	来年度はボランティア団体の幅を広げ、周知を広げていきたい。

■ 研修風景

地域包括ケアシステムとボランティアの関わり		ボランティアリーダー研修 ボランティアリーダー研修 ボランティアグループの関わり	
講義		演習	



— 平成 30 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 門司区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 旧大連航路上屋 多目的室 B （門司区西海岸 1-3-5 TEL 322-5020）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年6月20日（水）13：30～15：30

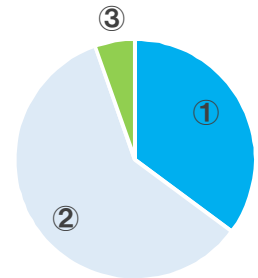
時 間	内 容	講 師 等
13：00～	受 付	
13：30～	開 会	門司区社会福祉協議会 会 長 宮 原 深 海
13：40～ 14：40	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」と 社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	門司区社会福祉協議会 主 事 久 留 島 一 暢
14：40～ 15：00	ふれあいネットワーク活動を通じた健康への取り組み 「要支援者・活動者自身の健康づくり」 (健康マイレージ事業)	
15：00～ 15：30	先輩福祉協力員からの活動発表 「私のふれあいネットワーク活動」	校区社会福祉協議会 現任の福祉協力員
～15：30	閉 会	門司区社会福祉協議会 事務局 長 小 田 光 江

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					1	2
	45 人	43 人						
—・—	95.6 %	43 人	— 才	1 日	2 時間			

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	39 件 90.7 %	満足 できたか?	13 33.3 %	22 56.4 %	2 5.1 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ ふれあいネットワークのしくみ（見守り、助け合い、話し合い）を校区でルールを確認して活動しようと思う。
	■ 無理はせず出来る事から始めればいと聞き、少しほっとした。
	■ 出来る時、出来る事を少しずつやって行こうと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 基本の話が分かり易く、福祉協力員としてやるべき事は理解できたとの声もあり、高評価だった。休憩があった方がよかったとの意見もあった。
	■ 先輩福祉協力員が体験に基づいた具体的な活動内容の話をしてくださったので、今後の活動意欲につながったようだ。

■ 研修風景

門司区社協 宮原会長 開会の挨拶		健康マイレージについて	
社会福祉協議会 ふれあいネットワーク活動等について		先輩福祉協力員の活動発表	



— 平成 30 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 小倉北区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** ムーブ 5階 大セミナールーム (小倉北区大手町11番4号)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年 8月23日(木) 13:30~15:30

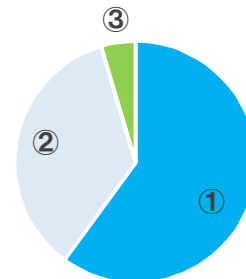
時 間	内 容	講 師 等
13:00~	受 付	
13:30~	開 会	小倉北区社会福祉協議会
13:40	オリエンテーション	小倉北区社会福祉協議会
13:40~ 14:10	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」について	小倉北区社会福祉協議会 事務局長 小池 昭
14:10~ 14:30	ふれあいネットワーク活動を通じた健康への取り組み 「要支援者・活動者自身の健康づくり」(健康マイレージ事業)	
14:30~ 15:30	住民が主役の地域づくり 「ふれあいネットワーク活動」と 「福祉協力員の役割」について	小倉北区社会福祉協議会 地域支援コーディネーター
15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	28 人	28 人	28 人	— 才			1 日	2 時間
	—・—	100.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	28 件	満足 できたか?	15	9	4	0	0
	100.0 %		53.6 %	32.1 %	14.3 %	0 %	0 %



主な意見	■ 協力員の役割について、よく理解できました。少しでも役に立ちたいと思います。
	■ わかりやすい資料と説明で理解しやすかった。
	■ グループワークの中で、グループの区（あらゆる区）の状況など分かりました。民生委員と福祉協力員が連携していかなければならないことも分かりました。
	■ 協力員は日ごろどう行動するかなどをしりたかったです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 今回は3名の地域支援コーディネーターがメインの講師となり、講義・グループワーク・まとめをそれぞれが担当し、研修会を進めた。福祉協力員と地域支援コーディネーターの交流が深まり、研修後も、福祉協力員と会話する場面が多く見られた。
	■ グループワークでは、お互いの事をよく知らないまま、ワークが進んだことに残念との声もあった。当研修は、福祉協力員の知識習得だけでなく、福祉協力員同士のつながりや交流を持つ場であることも意識し、次回の研修時に、進行を工夫する必要があると考えられる。

■ 研修風景

開会挨拶		要支援者・活動者自身の健康づくり	
社会福祉協議会活動について		ふれあいネットワーク活動と福祉協力員の役割について	



— 平成 30 年度 —
新任福祉協力員等研修会 実施要領
《集合研修》

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、地域住民が主体の「ふれあいネットワーク活動」を中心に“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
 この研修会では、活動の担い手である福祉協力員等に新たに就任された皆さんが、有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 小倉南区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 研修日程** 平成30年6月2日（土）13：00～15：40
- 4 会 場** 北九州市立若園市民センター（小倉南区若園4-1-50）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員など
- 6 研修内容**

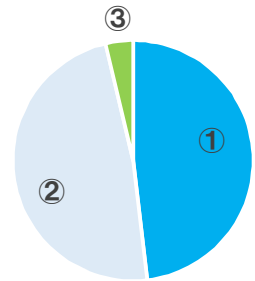
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00 ～13:10	開 会・オリエンテーション	小倉南区社会福祉協議会
13:10 ～13:40	演 劇 「詐欺に負けない地域づくり」	ふくし劇団「こくら南プチボ」
13:45 ～14:40	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動等について」	小倉南区社会福祉協議会
14:40 ～14:50	事業説明 「健康マイレージについて」	小倉南区社会福祉協議会
14:50 ～15:15	事業説明 「いのちをつなぐネットワーク等 について」	小倉南区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長
15:15 ～15:25	質疑応答	小倉南区社会福祉協議会
～15:40	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	30 人	29 人	29 人	— 才			1 日	3 時間
	—・—	96.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	28 件 96.6 %	満足 できたか?	13 46.4 %	13 46.4 %	1 3.6 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ みんなで協力しながら誰もが安心して暮らせる地域づくりに携わっていききたいと思った。
	■ 見守り・助け合い・話し合いの中で、問題をいち早く見つけそれを解決につなげられるように自分の出来る福祉協力員の役割を果たしていきたい。
	■ 地域のつながりの重要性がわかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 演劇のテーマがどこの地域にでも起こりうるものであったため、身近に感じた受講生が多かったようだ。
	■ DVDを活用したふれあいネットワーク活動の説明は、イメージが湧きやすく、理解しやすいとの声が多かった。

■ 研修風景

詐欺に負けない地域づくり		健康マイレージについて	
ふれあいネットワーク協議会の活動と		ふれあいネットワーク事業について	



— 平成 30 年度 —
新任福祉協力員等研修会 実施要領
《集合研修》

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、地域住民が主体の「ふれあいネットワーク活動」を中心に“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
 この研修会では、活動の担い手である福祉協力員等に新たに就任された皆さんが、有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 小倉南区・北九州市社会福祉協議会、北九州市
- 3 研修日程** 平成30年6月16日（土）13：00～15：40
- 4 会 場** 北九州市立曾根市民センター（小倉南区中曾根3-9-7）
- 5 対 象 者** 新任の福祉協力員など
- 6 研修内容**

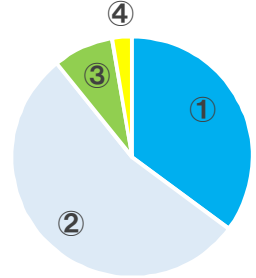
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00 ～13:10	開 会・オリエンテーション	小倉南区社会福祉協議会
13:10 ～13:40	演 劇 「詐欺に負けない地域づくり」	ふくし劇団「こくら南プチボ」
13:45 ～14:40	事業説明 「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動等について」	小倉南区社会福祉協議会
14:40 ～14:50	事業説明 「健康マイレージについて」	小倉南区社会福祉協議会
14:50 ～15:15	事業説明 「いのちをつなぐネットワーク等 について」	小倉南区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長
15:15 ～15:25	質疑応答	小倉南区社会福祉協議会
～15:40	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	42人	46人	46人	—才			1日	3時間
	—・—	109.5%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらかと 言う その通り	どちらとも 言えない	どちらかと 言う そうでない	全く そうでない
	37 件 80.4%		13 35.1%	20 54.1%	3 8.1%	1 2.7%	0 0%



主な意見	■ ご近所づきあいの大切さ、日ごろの声かけ、見守りの重要性に気づくことができた。
	■ できる人ができる事をできる範囲でということがわかり気が楽になった。
	■ できることを少しずつ増やして地域に関わっていきたいと思った。
	■ 地域のみinnで話し合い、協力しあいながらこれからの活動をしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 実際に地域で起こっている事例をテーマとしてあげ、演じることで、受講生にわかりやすく伝わり、より身近に感じてもらうことができたのではないかとと思う。
	■ 事例や講師自身の体験談を交えた講話は、受講生の活動の参考になったように感じた。

■ 研修風景

詐欺に負けない地域づくり		健康マイレージについて	
ふれあいネットワーク協議会の活動と		いのちをつなぐネットワーク事業について	



— 平成 30 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 若松区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 若松区役所 3階 特別会議室（若松区浜町一丁目1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年7月13日（金）

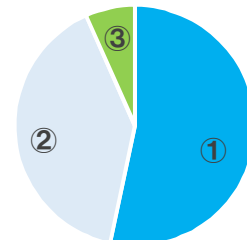
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	若松区社会福祉協議会 会長 添田 重幸
13:10	オリエンテーション	若松区社会福祉協議会
13:10～ 13:30	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」	若松区社会福祉協議会 事務局長 木下 義憲
13:30～ 13:50	要支援者・活動者自身の健康づくり（健康マイレージ対象）	
13:50 ～ 14:00	休 憩	
14:00～ 14:40	社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	若松区社会福祉協議会 主 事 村田 健吾
14:40～ 15:10	先輩福祉協力員からの活動紹介	古前校区社会福祉協議会 福祉協力員 櫛井 久美
15:10～ 15:30	「いのちをつなぐネットワーク事業等」	いのちをつなぐネットワーク 担当係長 江尻 誠司 佐々木 淳
～15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	20 人	18 人	18 人	— 才		1 日	3 時間
	—・—	90.0 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	16 件 88.9 %		8	6	1	0	0
			50.0 %	37.5 %	6.3 %	0 %	0 %



主な意見	■ 再確認ができた。
	■ DVDを見てよりよく理解できた。
	■ 他の福祉協力員さんの活動が勉強になった。
	■ スクリーンやパンフ、体操、協力員の方の講話など大変具体的で分かりやすかった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 社協の役割や活動の基本など説明が、分かりやすかったと意見も多く新任の方だけではなく、現任の方からも再確認できたとの声があった。
	■ 少し長すぎるとの意見もあったが、内容は多岐にわたり、先輩福祉協力員からの活動紹介も参考になった。時間配分は良かったと思う。

■ 研修風景

若松区社協 添田会長		社会福祉協議会活動について	
ふれあいネットワーク活動等について		先輩福祉協力員の活動発表	



— 平成 30 年度 —

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 八幡東区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** レインボープラザ7階71会議室（八幡東区中央2丁目1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年6月23日（土）13：00～15：30

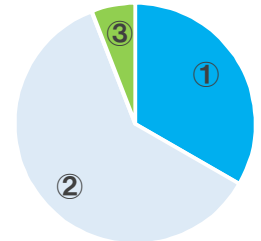
時 間	内 容	講 師 等
12：30～	受 付	
13：00～	開 会	八幡東区社会福祉協議会 会 長 半田 康行
13：10～ 13：30	地域福祉活動の要 「社会福祉協議会活動」	八幡東区社会福祉協議会 事務局長 福島 慎太郎
13：30～ 13：50	社協活動の基盤 「ふれあいネットワーク活動」	八幡東区社会福祉協議会 主 事 梶原 吉恵
13：50～ 14：20	ふれあいネットワーク活動の支援 「いのちをつなぐネットワーク・ 地域包括支援センターについて」	八幡東区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク担当係長 平野 謙太 地域包括支援センター担当係長 花田 紀子
14：20～ 14：30	休 憩	
14：30～ 14：40	ふれあいネットワーク活動を通じた健康への取り組み 「要支援者・活動者自身の健康づくり」（健康マイレージ事業）	
14：40～ 15：30	先輩福祉協力員からの活動発表 「私のふれあいネットワーク活動」	大蔵第三地区社会福祉協議会 顧問 光行 靖基
～15：30	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	67 人	62 人	62 人	— 才			1 日	3 時間
	—・—	92.5 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	52 件	満足 できたか?	17	31	3	0	0
	83.9 %		32.7 %	59.6 %	5.8 %	0 %	0 %



主な意見	■ 先輩福祉協力員からの活動発表が大変参考になったので、自分の地域での今後の活動に生かしていきたい。
	■ ふれあいネットワーク活動の大切さを実感した。
	■ 見守り・助け合い・話し合いの3つの仕組みについて理解できた。
	■ これから無理せず楽しく活動を行っていききたいと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 具体的事例を取り上げた実践発表は、研修効果が高まる。
	■ 先輩福祉協力員に経験ややりがいをお話いただくことで、今後の活動の意欲につながる。
	■ 新任福祉協力員研修が活動する際の不安を解消できる講義内容も大切だと感じた。

■ 研修風景

ふれあいネットワーク活動		健康マイレージについて	
いのちをつなぐネットワーク		私のふれあいネットワーク活動	



— 平成 30 年度 —

新任福祉協力員等研修会 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 八幡西区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 北九州市立子どもの館 子どもホール
(八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ7階)
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年7月21日(土)

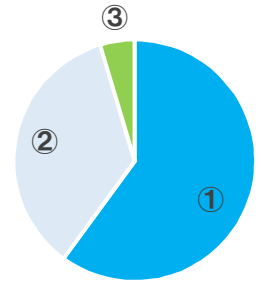
時 間	内 容	講 師 等
12:30~	受 付	
13:00~13:05	開 会	八幡西区社会福祉協議会 会 長 奥 尾 一 雄
13:05~13:10	オリエンテーション	
13:10~14:00	「社会福祉協議会の活動と ふれあいネットワーク活動推進事業 」	八幡西区社会福祉協議会 主 事 前 田 純 志
14:00~14:10	休 憩	
14:10~14:30	地域づくりは健康から！（健康マイレージ対象）	
14:30~15:30	「福祉協力員としての心構え」	八幡西区社会福祉協議会 副会長 太 田 康 子
~15:35	閉 会	八幡西区社会福祉協議会 事務局 長 公 文 真 理 亜

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	80 人	71 人	71 人	— 才			1 日	3 時間
	—・—	88.8 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	65 件 91.5 %	満足 できたか?	39 60.0 %	23 35.4 %	3 4.6 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	■ 先輩福祉協力員の話が大変参考になったので、自分の地域での今後の活動に役立たせていきたい。
	■ 地区が違って同じ活動をする方々と話す機会があってとても良かった。
	■ これから自分らしく楽しみながら活動をしていきたい。
	■ 人と人とのつながりが大切だということを改めて実感した。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 先輩活動者による講演では、ワークを取り入れ参加者自身が楽しんで学ぶことが出来た。また、経験ややりがいをお話いただくことで、今後の活動の意欲につながるとともに新任者の不安解消につながったと思う。
	■ 講義だけでなく、スライドや実践を通しての内容にすることで研修効果が高まる。

■ 研修風景

開会挨拶		健康マイレージについて	
社会福祉協議会の活動とふれあいネットワーク活動推進事業		福祉協力員としての心構え	



平成30年度

新任福祉協力員等研修 実施要領

- 1 趣 旨** 社会福祉協議会では、校(地)区社会福祉協議会が実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」を基本に、地域住民が主体となり“みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり”を進めています。
- この研修会では、新たに福祉協力員等に就任された皆さんが、無理なく有意義な活動を行っていただくために、これからの活動に必要な知識や技能を習得してもらうことを目的に開催します。
- 2 実施主体** 戸畑区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 新任の福祉協力員など
- 4 研修会場** 戸畑区役所 3階 大会議室（戸畑区千防1丁目1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年8月30日（木）10：00～12：00

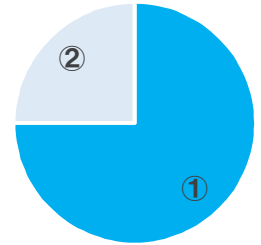
時 間	内 容	講 師 等
9：30～	受 付	
10：00～	開会挨拶	戸畑区社会福祉協議会 会 長 草木 正人
10：05	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10：05～ 10：55	◆これからの活動を楽しくらくにする4つのヒント！ ◇事業説明1 「ふれあいネットワーク活動推進事業 ～やさしさを紡ぐ福祉協力員！～」 ◇事業説明2 「生活支援体制整備事業 ～互助活動を高めるお手伝い！～」 ◇事業説明3 「ボランティア・市民活動センター事業 ～想いをカタチにするお手伝い！～」	戸畑区社会福祉協議会 主 事 阿部 由季 地域支援コーディネーター 兼重 妙子 事務局長 小笠原 靖子
10：55～ 11：05	◇事業説明4 「いのちをつなぐネットワーク事業 ～困難事例はおまかせください！～」	戸畑区役所 保健福祉課 いのちをつなぐネットワーク係 係 長 中村 孝
11：05～ 11：10	リフレッシュ体操（健康マイレージ対象）	北九州市社会福祉協議会 生活福祉課 太田 由美子
11：10～ 12：00	◇グループワーク 「先輩に学ぼう！ 活動のコツ！ 福祉協力員の支えあい活動」	一枝地区社会福祉協議会 福祉協力員 赤迫 由美子 林田 京子 中原地区社会福祉協議会 福祉協力員 竹内 明美 東 輝子
12：00～	閉会挨拶	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	16 人	17 人	17 人	— 才			1 日	2 時間
	5・11	106.3 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
	(回答)		全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらか も 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	17 件	満足 できたか?	12	4	0	0	0
	100.0 %		70.6 %	23.5 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ もう少し時間が長いと良かった。いろいろ質問できたので良かったです。
	■ 先輩のお話がわかりやすくよかったです。ありがとうございました。
	■ とてもわかりやすいお話で盛り上がることができました。
	■ 少し不安がとれました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 先輩福祉協力員によるグループワークは、参加者自身が楽しんで学ぶことができ、満足度が高かった。グループワーク修了後、先輩福祉協力員からも「新任福祉協力員が何に不安を持っているのかを知ることができてよかった」との意見があがり、お互いに有意義な研修となった。参加者からも要望があがっているが、グループワークにもっと時間を割り当ててもよいかと思われる。
	■ 講義はパワーポイントを使用せず、研修資料だけを使って進めたことにより、時間のロスが少なく、スムーズに進行することができた。

■ 研修風景

ふれあいネットワーク 活動推進事業		いのちをつなぐネットワーク 事業	
ボランティア・市民活動 センター事業		先輩に学ぼう！ 活動のコツ！ 福祉協力員の支えあい活動	

— 平成 30 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 門司区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 門司区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 門司生涯学習センター 3階 第1、第2会議室
 (門司区栄町3-7 TEL 332-0887)
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 平成30年10月25日(木)

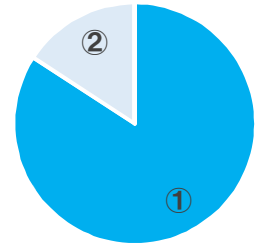
時間	内容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開会	門司区社会福祉協議会 会長 宮原 深海
13:05～ 15:20	講話及びグループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について ～地域で支え合うことの重要性～」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	門司区社会福祉協議会 事務局長 小田 光江

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	45人	41人	41人	—才		1日	3日
	—・—	91.1%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	39 件		32	6	0	0	0
	95.1 %		82.1 %	15.4 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 各地域の人と情報交換は参考になった。グループワークは良かったです。
	■ 講話を聞いて、改めて福祉というものを考える事ができた。
	■ 自分の為に活動をする。共感した。私も同じ考えで実行している一人。
	■ 先生のパワフルな講義、大変充実したお話でした。また、参加したいと思いました。
	■ 他地域の方と意見が交わらせて楽しかったです。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容も好評で、その後のグループワークも活発に意見交換ができたようだ。参加者は、グループが最初から決まっていた事に対して、友人と同じ机に座れない不安があったようだが、「他の校区の話が聞けてよかった」との声が多数聞かれた。他校区との交流は有意義だと思うので、今後もこういう形式で研修を継続したい。
--------------------	--

■ 研修風景



— 平成 30 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 小倉北区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 小倉北区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」5階大セミナールーム（小倉北区大手町11番4号）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年11月20日（火）

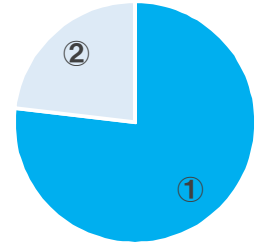
時間	内 容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開 会	小倉北区社会福祉協議会 会 長 福丸 清生
13:05～ 15:20	講話及びグループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	まとめ・閉 会	小倉北区社会福祉協議会 事務局長 小池 昭

■実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	34人	31人	31人	—才		1日	3日
	—・—	91.2%					

■アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	26 件	満足 できたか?	20	6	0	0	0
	83.9 %		76.9 %	23.1 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 身近な内容が折り込まれていて、とてもわかりやすく楽しかった。
	■ 他の地域の活発な活動を聞けて、参考になった。
	■ 他校区の役員の考え方も聞けて、今後の自分自身の役に立てていきたと思った。
	■ ディスカッションで様々な地域の状態、抱えている問題がわかり、ためになった。
	■ 他地区の考え方を知る機会になった。

■事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義は身近な話も折り込まれており、受講者の興味を引き付けていた。ディスカッションを通して普段聞くことがない他校地区の考えや活動を知る事で、お互いに感化され、より意欲的に活動に取り組みたいという意見が多くあった。今後も他校地区の意見交換は取り入れていくべきだと思う。
--------------------	--

■研修風景



— 平成30年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 小倉南区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 小倉南区内の現任福祉協力員等
- 4 研修会場** 小倉南生涯学習センター3階 視聴覚室（小倉南区若園5-1-5）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 平成30年12月1日（土）

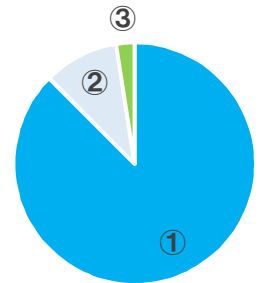
時間	内容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開会	小倉南区社会福祉協議会 会長 築別 邦博
13:05～ 15:20	講話及びグループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について ～地域で支え合うことの重要性～」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
15:20～ 15:30	まとめ・閉会	小倉南区社会福祉協議会 事務局長 崎田 一彦

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	50人	45人	45人	—才			1日	3日
	—・—	90.0%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	41件	満足 できたか?	35	4	1	0	0
	91.1%		85.4%	9.8%	2.4%	0%	0%



主な意見	■ 支援に対する意識が変わったので、これからの活動に生かしていきたい。
	■ 他地域の活動を聞くことができたことが大変良かった。
	■ 情報交換の中で、色々なアイデアがあり参考になった。
	■ 気持ちを新たに自分ができることを頑張っていきたいと思う。
	■ 地域の方々と今以上にもっと助け合いながら暮らしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容は好評であった。福祉協力員と民生委員・児童委員との連携をはかる上で、大切なポイントを学べたと思う。2時間半の研修であったが、休憩やグループワークがあり、参加者を飽きさせない研修であった。 ■ また他校(地)との意見交換は、今後も取り入れていくべきだと思う。
--------------------	---

■ 研修風景



— 平成 30 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 若松区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 若松区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 若松区役所 3階 特別会議室（若松区浜町 1-1-1 TEL 761-3422）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年11月8日（木）

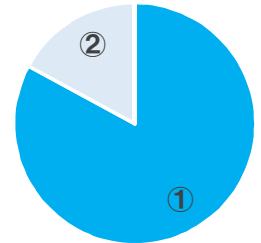
時 間	内 容	講 師 等
12:30～	受 付	
13:00～	開 会	若松区社会福祉協議会 事務局長 木下 義 憲
13:05～ 15:20	講話及びグループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について ～地域で支え合うことの重要性～」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中村 秀 一
15:20～ 15:30	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 所 長 火 箱 要

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	53人	48人	48人	—才		1日	3日
	11・42	90.6%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	45件		34	7	0	0	0
	93.8%		75.6%	15.6%	0%	0%	0%



主な意見	■ 支援に対する意識が変わった。
	■ 地域でのつながり、見守りがいかに大切かを改めて学ぶことができ、福祉協力員としてこれからも前向きに取り組んでいこうと思う。
	■ 他校区とワークをすることで意見交換ができ、参考になった。
	■ 自分が地域で何ができるのかということを考えることができた。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 福祉協力員の仕事や心構えについて理解でき、今後のやる気につながるような講義内容であり、大変好評であった。また、意見交換ができるグループワークでは、他校(地区)の活動について聞くことができ参考になったという声が多く、今後も取り入れていくべきだと思う。
--------------------	--

■ 研修風景



— 平成 30 年度 —

現任福祉協力員等合同研修会 実施要領

- 1 目 的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 八幡東区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 八幡東区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** レインボープラザ 7階 71会議室（八幡東区中央2丁目1-1）
- 5 参加費** 無 料
- 6 日時・内容** 平成30年10月20日（土）

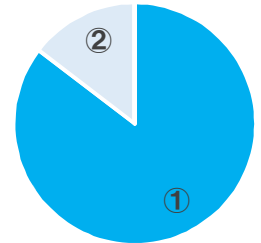
時 間	内 容	講 師 等
12：30～	受 付	
13：00～	開 会	八幡東区社会福祉協議会 会 長 半 田 康 行
13：05～ 15：20	講話及びグループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について ～地域で支え合うことの重要性～」	九州大谷短期大学 福祉学科 学科長/教授 中 村 秀 一
15：20～ 15：30	ま と め ・ 閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	57人	56人	56人	—才		1日	3日
	—・—	98.2%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そでない	全く そでない
	45 件		35	6	0	0	0
	80.4%		77.8%	13.3%	0%	0%	0%



主な意見	■ 非常にわかりやすく有意義な時間だった。学んだことを今後に生かしていきたい。
	■ 身近な事例をあげていただいたので、理解しやすかった。
	■ 地域での支え合いが大切であるということあらためて認識できた。
	■ 他地区と交流をできたことがよかったし、これからの参考になった。
	■ これから寄り添う支援をしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容は好評であった。福祉協力員と民生委員・児童委員との連携をはかる上で、大切なポイントを学べたと思う。2時間半の研修であったが、休憩やグループワークがあり、参加者を飽きさせない研修であった。 ■ また他地区との意見交換は、今後も取り入れていくべきだと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		グループワーク	
講義		グループワークまとめ	

— 平成30年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 八幡西区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 八幡西区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 北九州市立八幡西生涯学習総合センター 大会議室
(八幡西区黒崎三丁目15-3 コムシティ3階)
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 平成30年11月30日(金)

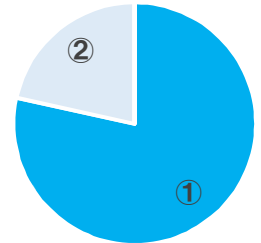
時間	内容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開会	八幡西区社会福祉協議会 会長 奥尾 一雄
13:10～ 14:25	講話 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について ～地域で支え合うことの重要性～」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
～14:35	休憩	
14:35～ 15:25	グループワーク 「地区（北部・中部・南部）ごとに 分かれて話し合いをしてみよう！」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
15:25～ 15:55	まとめ 「“みんなが安心して暮らせる支え合いの まちづくり”のために私たちにできること」	
～16:00	閉会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数	修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	70人	63人	63人	—才			1日	3日
	14・56	90.0%						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	53 件		40	11	0	0	0
	84.1 %		75.5 %	20.8 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 先生の講義が分かりやすく大変有意義な時間だった。
	■ 福祉協力員としての活動の在り方を見直していくことを考えさせられた。
	■ 地域での人づくり、地域づくりを頑張りたいと思う。
	■ 各地域での活動を聞いたことが大変参考になったので、これを地域に持ち帰って、これからの活動に生かしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 講義内容は好評であった。福祉協力員と民生委員・児童委員との連携をはかる上で、大切なポイントを学べたと思う。
	またグループワークでは、他校(地)区との意見交換ができ大変良かったという声が多く、今後も取り入れていくべきだと思う。

■ 研修風景



— 平成 30 年度 —

現任福祉協力員研修 実施要領

- 1 目的** 私たち社会福祉協議会は、住民主体による「ふれあいネットワーク活動」を中心として、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を進めています。
- 昨今では、この見守り・助け合い・話し合いの3つのしくみを活かし、サロン等の生活支援活動や災害時の福祉救援体制づくりなどにも取り組み、地域社会に必要な福祉活動となっています。
- 今回の研修では、これらの活動を進めていく上で重要となる地域の関係団体（民生委員・児童委員等）とのより良い連携方策を見出すことを目的とします。
- 2 実施主体** 戸畑区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 戸畑区内の福祉協力員等
- 4 研修会場** 戸畑区役所 3階 大会議室（戸畑区千防1丁目1-1）
- 5 参加費** 無料
- 6 日時・内容** 平成30年12月11日（火）

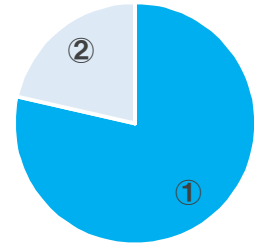
時間	内容	講師等
12:30～	受付	
13:00～	開会	戸畑区社会福祉協議会 会長 草木 正人
13:05～ 15:25	講義及びグループワーク 「地域における関係機関・団体との 連携・協働について」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中村 秀一
15:25～ 15:30	閉会	北九州市社会福祉協議会

■実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研日数 修等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	33人	29人	29人	—才		1日	3日
	—・—	87.9%					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	28 件		22	6	0	0	0
	96.6 %		78.6 %	21.4 %	0 %	0 %	0 %



主な意見	■ 他地区の実情を聞く事が出来て良かった。
	■ 講師の先生のユーモアを交えての話で分かりやすく、とても良かった。
	■ 講義もグループワークの皆様の話も大変参考になった。
	■ 事例を上げての研修、理解できた。
	■ とても有意義を過ごさせてもらった。支援するのではなく一緒にして行こうと思う。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義を通して、福祉協力員の基本理念を改めて考え、支援についての意識が変わったという意見が多く見受けられた。今後の活動に対する目標や意識が高まったと思う。またグループワークは、他地区の活動を知る事ができる貴重な機会なので、今後も取り入れていくべきだと思う。
--------------------	---

■ 研修風景

開会挨拶		グループワーク	
講義		グループワークまとめ	

— 平成 30 年度 —

地域福祉活動専門研修 実施要領

～ わがまちの福祉のまちづくり中長期計画策定に向けて ～

- 1 目的** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指し、小地域における福祉活動の要「校(地)区社会福祉協議会」が中心となり、地域の福祉課題に対応できるよう「ふれあいネットワーク活動」に取り組んでいます。
この活動の指針となる「北九州市地域福祉活動第五次計画」を推進するうえで、校(地)区社協が策定する「小地域福祉活動計画」は、大変重要な役割を担います。
本研修では、計画づくりの意義と必要性等の理解を深めるとともに、校(地)区社協の計画策定が実現することを願い、開催するものです。
- 2 実施主体** 各区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 開催会場** ウェルとばた 2階 多目的ホール（戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対象者** 校(地)区社会福祉協議会の事務局長、ふれあいネットワーク活動部長、福祉協力員、民生委員・児童委員など **【定員80名】**
- 5 日時・内容** 平成30年12月14日（金）

テーマ：小地域福祉活動計画づくりの意義と必要性を学ぶ

※本研修は、平成31年度に第一次計画並びに第二次計画の策定に取り組む校(地)区社会福祉協議会の皆様に、計画づくりの意義と校(地)区社協にとっての成果を学んでいただきます。

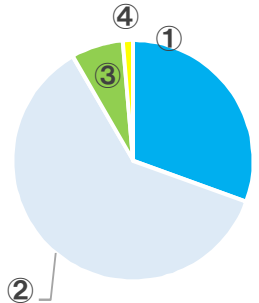
時間	プログラム	講師等
13:00 ～13:15	開 講	社会福祉ボランティア大学校 校 長 山 崎 克 明
	オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:15 ～14:00	講 義 「計画の意義と必要性について」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村 山 浩 一 郎
14:00 ～15:00	パネルディスカッション ～ 事例発表 ～	
	◆発表① 「小地域福祉活動計画の推進」	小倉南区 葛原校区社会福祉協議会 副会長 廣 松 謙 治
	◆発表② あなたに伝えたい！ 「上津役思いやりプラン」	八幡西区 上津役校区社会福祉協議会 会 長 久 保 田 雅 晴
～15:15	休 憩	
15:15 ～15:50	講 義 「計画の成果や展望について」	福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 准教授 村 山 浩 一 郎
～16:00	閉 講	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	82 人	87 人	87 人	— 才			1 日	3 時間
	53・29	106.1 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回収)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	76 件 87.4 %	満足 できたか?	22 28.9 %	44 57.9 %	5 6.6 %	1 1.3 %	0 0 %



主な意見	■ 小地域福祉活動の内容が具体的に判ってきた。今後策定する校区としては、非常に参考になった。
	■ 今日の研修を当校区の活動にいかしていきたい。
	■ 他地区の社協の取り組みが非常に良くわかりやすかった。今後も当地区は実施することとする。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 具体的な2校区の事例発表で、講師の話しも分かりやすく小地域活動計画の意義や必要性を理解していただけたと思う。講師の依頼で地域支援課の主事が話をしたが、体験に基づいた話しで高評価だった。
	■ 事例発表や質問の時間が長く、休憩時間が遅くなってしまった。もっと時間配分を考えたい。

■ 研修風景

開会の挨拶		村山先生の講義	
事例発表		パネルディスカッション	

平成30年度 北九州市社会福祉大会

開催要綱

1 大会テーマ

「 地域共生社会の実現に向けた新しいステージへ
～ 今こそ地域のチカラを一つに ～ 」

2 趣 旨

近年の我が国は少子高齢化や人口減少、地域のつながりの希薄化などで支え合いの基盤が弱まってきており、誰にも相談できないまま、地域から孤立して、問題を深刻化させるケースが増えています。そこで、国においては「ニッポン一億総活躍プラン」の中で住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるよう、地域住民等が支え合い、一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともにつくっていくことのできる「地域共生社会」の実現を目指していこうとしています。

本会では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を推進するため、関係機関・団体・ボランティア等と連携しながら、市内155の校（地）区社会福祉協議会を中心に、「ふれあいネットワーク活動」などの地域が主体となった福祉活動に取り組んできました。そして今後も地域住民とともに私たち福祉関係者が連携して、課題を解決する力を再構築することが一層求められています。

本大会は、これからの地域共生社会の実現に向けて、市民及び福祉関係者等が一堂に会し、社会福祉に関する課題の解決に向けた決意を新たにするとともに、多年にわたり社会福祉の発展に功績等のあった方々に感謝と敬意を表し、本市における福祉活動のさらなる普及と社会福祉の一層の充実を図ることを目的として開催します。

3 主 催

社会福祉法人北九州市社会福祉協議会

4 共 催

門司区社会福祉協議会、小倉北区社会福祉協議会、小倉南区社会福祉協議会、若松区社会福祉協議会、八幡東区社会福祉協議会、八幡西区社会福祉協議会、戸畑区社会福祉協議会、北九州市、北九州市民生委員児童委員協議会、北九州市障害福祉団体連絡協議会、北九州市障害者施設協議会、北九州市障害児施設連盟、北九州高齢者福祉事業協会、北九州市保育所連盟、北九州市児童養護施設協議会

5 日 時

平成30年10月28日（日）10：00～12：15（受付9：15～）

6 会 場

ウェルとばた3階 大ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号 JR戸畑駅横）

7 参 加 者

北九州市社会福祉協議会会長表彰被表彰者、各社協役職員、社会福祉施設役職員、社会福祉団体役職員、民生委員、学校関係者、NPO、一般市民等（800名程度予定）

8 内 容

9:15	受 付
10:00	記念講演（地域福祉活動指導者研修「トップセミナー」） 「高齢者も障害者も子どもも自分らしく輝けるまちづくりを目指して」 NHK解説委員 飯野 奈津子 氏
11:00	アトラクション 「健康寿命を伸ばしたい！座ったままで介護予防」 認知症支援・介護予防センター 健康運動指導士：坂田 晴矢氏
11:20	— 休 憩 —
11:30	北九州市社会福祉協議会会長表彰 記念式典
12:15	閉 会

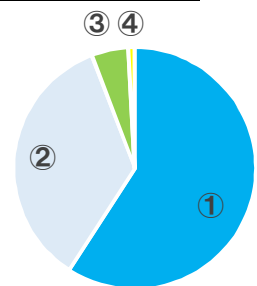
※手話通訳・要約筆記あり。

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 修 日 数	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	552 人	496 人	496 人	— 才		1 日	2 日
	—・—	89.9 %					

■ アンケート結果

全体評価	回 答 (回答)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そのでない	全く そのでない
	236 件 47.6 %	満足 できたか?	133 56.4 %	79 33.5 %	11 4.7 %	2 0.8 %	0 0 %



主な意見	意見内容
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 具体的な事例が多く、今後の地域活動に役立てそうなものがたくさんあった。 ■ これから地域にあった取組みをしていければと思った。 ■ 地域で出来ることは地域でやろうという意識をもってまちづくり活動を行いたい。 ■ 地域全体で取り組むことの大切さに気づくことが出来た。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	講評内容
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 講義内容は好評であった。また、事例を交えての講義は、効果的であるように感じた。しかし、時間が短かったという声が多かったため、次年度以降は、90分程度の時間を確保していきたいと思う。

■ 研修風景



— 平成 30 年度 —

校(地)区社会福祉協議会 新任役員研修 実施要領

- 1 趣 旨** 私たちのまち北九州市では、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」のために、校(地)区社会福祉協議会が中心となり、地域住民主体の小地域福祉活動を展開しています。
今回の研修では、新しく校(地)区社会福祉協議会の役員に就任された方々に、社協活動の基本を確認していただくとともに、リーダーとして校(地)区社会福祉協議会をどのように運営していくのか、市・区社会福祉協議会と一緒に考えていきます。
- 2 実施主体** 各区社会福祉協議会・北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場** ウェルとばた 2階 多目的ホール（北九州市戸畑区汐井町1番6号）
- 4 対 象 者** 新たに校(地)区社会福祉協議会役員に就任された方 【定員100名】
（新任の会長・副会長・ふれあいネットワーク部会長等）
※定員を超えた場合、受講調整をすることがありますので、予めご了承ください。
- 5 日程・内容** 平成30年 6月21日（木）

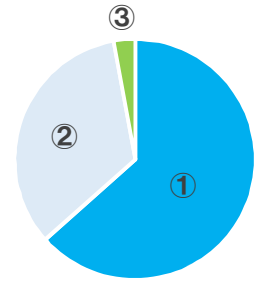
時 間	内 容	講 師 等
09:30～	受 付	
10:00～ 10:15	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
10:15～ 11:00	講 義 「小地域福祉活動の意義と 校(地)区社協運営について」	北九州市社会福祉協議会 地域福祉部 部長 下 田 俊
11:00 ～12:00	事例紹介 事例で学ぶ「校(地)区社協の運営」	コーディネーター 九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中 村 秀 一
	事例Ⅰ 小地域福祉活動計画を中心とした組織運営	若松区修多羅校区社会福祉協議会 会長 安 東 英 毅
	事例Ⅱ 見守り・助け合い・話し合いのしくみに よる校区社協の取り組み	門司区大里柳校区社会福祉協議会 会長 吉 野 益 生
12:00～ 12:50	休 憩	
12:50～ 13:00	リフレッシュ体操 （健康マイレージ対象）	北九州市社会福祉協議会
13:00～ 14:45	講 義 「地域の関係団体との連携・協働」	九州大谷短期大学 福祉学科 教授 中 村 秀 一
15:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	93 人	96 人	96 人	— 才			1 日	5 時間
—・—	103.2 %							

■ アンケート結果

全体評価	回答	研修全体について	①	②	③	④	⑤
	(回収率)		全くその通り	どちらかと言うとその通り	どちらとも言えない	どちらかと言うとそうでない	全くそうでない
	72 件	満足できたか?	45	24	2	0	0
	75.0 %		62.5 %	33.3 %	2.8 %	0 %	0 %



主な意見	■ 講義が大変分かりやすく、参考になった。
	■ 社協活動に取り入れていくポイントがわかった。
	■ 「できる事からやっていく」事を心にとどめて少しずつ頑張りたい。
	■ 今日の研修の内容を地域での活動に活かしていきたい。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 事例発表を見て、自分の地域での取組みと比較ができ、再考するきっかけになったようだ。
	■ あっという間に研修時間が過ぎたとの声が多かったが、研修時間が長いとの声もあった。

■ 研修風景

小地域福祉活動の意義と校地区社協運営		リフレッシュ体操 (健康マイレージ)	
「校地区社協の運営」事例で学ぶ		地域の関係団体との連携・協働	

— 平成 30 年度 —

まちづくりゼミナール 実施要領

- 1 目的** 「まちづくりゼミナール」は、主に、地域で活躍する指導者を支援するため、ゼミナール形式により、地域づくりのための情報交換・討論等を行いながら、地域コミュニティの再生に取り組む研修会です。
 今回は、社会福祉法人の地域における公益的な取り組みが実施される中、その専門性を地域福祉活動に生かすことで、地域が抱えるいろいろな課題に対する解決の可能性や、その効果、また、取り組みの中で発生してくると思われる地域との問題点について考えます。

- 2 実施主体** 社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会

- 3 受講対象** 校(地)区社協・地区民児協・まちづくり協議会の役員
 実務者会議の役員等 30名

- 4 研修会場** ウェルとばた 12階 H・I 研修室（戸畑区汐井町1-6）

- 5 研修日時** 平成30年9月13日（木）、10月11日（木）、11月8日（木）
 いずれも10：00～12：00

- 6 参加費** 無料

- 7 テーマ** 「社会福祉施設や企業等の社会貢献活動と
 その専門性を活かした地域の課題解決」

8 研修内容

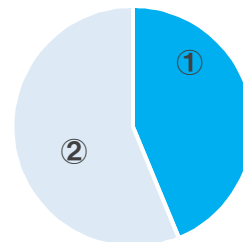
日程	内容	講師
一 目 9月13日 (木)	コーディネーター 北九州市社会福祉ボランティア大学校 校長 山崎 克明	
	■高齢者福祉施設や保育園の専門性を活かした公益活動の在り方を考える。	事例Ⅰ 社会福祉法人春秋会 好日苑 大里の郷 施設長 渡辺 大祐 事例Ⅱ 社会福祉法人 北九州市戸畑民生事業協会 さかい川保育園 園長 布住 好江
二 目 10月11日 (木)	■障害者施設や企業が持つ専門性を地域の福祉活動とどう結び付けていくかを考える。	事例Ⅲ NPO 法人 わくわーく 理事長 小橋 祐子 事例Ⅳ トップ保険サービス株式会社 代表取締役社長 野嶋 康敬
三 目 11月8日 (木)	■地域が社会福祉施設や企業に期待するものは何かを考える。	事例Ⅴ 今町校区社会福祉協議会 会長 福丸 清生 事例Ⅵ 枝光北地区社会福祉協議会 会長 近藤 伸久 副会長 大塚 涼二

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	21 人	18 人	48 人	— 才			3 日	6 時間
	11・9	85.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そのでない
	16 件 88.9 %	満足 できたか?	7 43.8 %	9 56.2 %	0 0 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	<ul style="list-style-type: none"> ■ 様々な組織でより多くの地域と関わっている事を知りました。 ■ 事例を多くあげているので、わかりやすかったし、知らない取り組みもあったので、良かった。 ■ 3日の研修を受講し、様々な立場から活動を聴くことができ、有益であった。地域包括ケアシステム構築の重要性が理解できた。 ■ 今一番、身近に直面する問題でしたので大変参考になりました。高齢者の波、個人情報への扱い方、民生、福祉協力員の立場など色々なケースがある事を感じました。
------	--

■ 事業点検

点検・講評	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参加者から、活発な意見を聞くことができた。ゼミ形式は話しやすく、聞きやすいと思う。 ■ 事例発表は大変好評で、地域の参考になったと思う。
(今後の取り組み)	

■ 研修風景



地域と共に生きる身近な企業を目指して

～ 地域社会発展に貢献する企業の取り組みについて考える ～

- 1 趣 旨** 本セミナーでは、企業の中で社会貢献活動を担当している方を対象に、地域と協働していくことにより生まれてくるお互いのより良い関係性を学び、企業が持つ資源をどううまく発揮していくのか、また、地域や他の関係団体と連携することで具体的に何ができるのか、その可能性について考えていくことを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 共 催** 各区社会福祉協議会
- 4 後 援** 北九州商工会議所
- 5 受講対象** 各企業の社会貢献活動担当者及び活動者（定員 20 名）
- 6 研修会場** ウェルとばた 12階 H・I研修室（戸畑区汐井町1 - 6）
- 7 日程・内容** 平成 31 年 1 月 30 日（水）

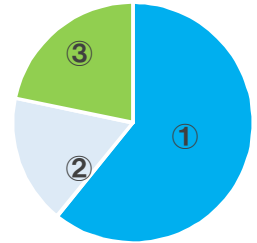
時 間	内 容	講 師 等
13:00～	受 付	
13:30～	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
13:40～ 15:00	講 義 「企業の社会貢献活動について」 ～地域とつながろう！ 共に生きる貢献とは～	C S R協働コーディネーター 池上 直樹
15:00～ 15:10	休 憩	
15:10～ 15:50	グループワーク 「企業は地域の為に何が出来るか 企業にとってのメリットは？」	C S R協働コーディネーター 池上 直樹
～16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	25 人	23 人	23 人	— 才			1 日	3 時間
	11・9	92.0 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回答)	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	23 件	満足 できたか?	14	4	5	0	0
	100.0 %		60.9 %	17.4 %	21.7 %	0 %	0 %



主な意見	■ CSRの取り組みがいかに企業にとって重要なのか大変理解できました。
	■ 企業とボランティアの関係が成り立つ事がわかりました。社会を巻き込むことが大切だとわかりました。
	■ 社協、NPOとの関わり方についてヒントを得られて良かった。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ CSR協働コーディネーターを講師に招き、講義とグループワークを行ったが、専門の講師は、情報の幅が広く、いろんな角度からの視点で、話しをしていた。受講生は、活動、知識の幅が広がった様に思えたが、参考になったとの意見が多かった。
	■ グループワークは活発に行われたので、時間が足りないとの声もあった。来年度は、講義、グループワークの時間配分を考えたい。

■ 研修風景

開会挨拶		講義	
グループワーク		発表	

平成 30 年度 社会福祉法人の社会貢献活動セミナー 実施要領

これからの社会福祉法人に求められる 地域貢献のあり方について

- 1 趣 旨** 社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人では、地域における公益的な取組が責務と規定され、地域公益活動にも積極的に取組むことが求められるようになりました。
- そこで、今後、社会福祉法人が、社会貢献活動に取組むうえで、地域の様々な課題を解決するには、地域や団体と連携し、それぞれの強みを生かした役割を果たしていくことが重要です。今回は、このような課題について地域貢献のあり方を一歩踏み込んで考えていくことを目的とします。
- 2 実施主体** 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 受講対象** 社会福祉法人の社会貢献担当者など (定員 20 名)
- 4 研修会場** ウェルとばた 12 階 H・I 研修室 (戸畑区汐井町 1 - 6)
- 5 日程・内容** 平成 31 年 3 月 15 日 (金)

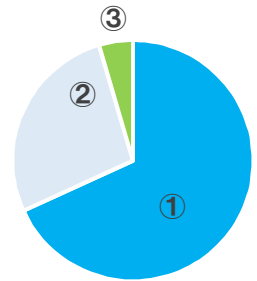
時 間	内 容	講 師 等
13:00~	受 付	
13:30~	開 会・オリエンテーション	
13:40~ 14:30	講 義 「社会福祉施設による 地域公益事業の取組」	大分大学 福祉健康科学部 大学院福祉社会科学研究所 教 授 衣笠 一茂
~14:35	休 憩	
14:35~ 15:25	講 義 「見えてきた“地域の課題”と これからの社会福祉施設」	
~15:30	閉 会	

■ 実施状況

参加者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数	修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)					延	延
	24 人	22 人	22 人	— 才			1 日	3 日
	15・9	91.7 %						

■ アンケート結果

全体評価	回答 回数	研修全体 について	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか 言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか 言うと そうでない	全く そうでない
	22 件	満足 できたか?	15	6	1	0	0
	100.0 %		68.2 %	27.3 %	4.5 %	0 %	0 %



主な意見	■ 社会福祉法人を取り巻く外部環境や社会福祉法人に求められる本来の役割を丁寧に語っていただけで有意義であった。
	■ 社会貢献事業の必要性、根拠が体系的で大変わかりやすく拝聴しました。
	■ これから事業所として、何をすべきかの大きなヒントになりました。

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	■ 大学教授を講師に招き、講義、DVD視聴を行った。社会福祉をとりまく制度の状況、これからの担うべき役割など、情報の幅が広がった。また話し方も抑揚があり、聞きやすく、内容に引き込まれた。とても分かりやすい講義だった。
	■ 取り組み事例の発表も聞きたいとの意見もあった。来年度も講義、事例発表、グループワークなど講師と話しながら、地域貢献のあり方を考える研修を計画したい。

■ 研修風景



平成 30 年度 ボランティアコーディネート研修 実施要領

ボランティアとのかかわり方を学ぼう!!

～ いま求められるボランティアコーディネーションとは ～

- 1 趣 旨 社会福祉施設や市民センター・校(地)区社協等でボランティア受入担当者（ボランティアコーディネーター等）を対象に、施設利用者、ボランティア、担当者それぞれにとってプラスになるようなコーディネーションとは何かを学びます。
- 2 実施主体 北九州市社会福祉協議会・北九州市
- 3 会 場 ウェルとぼた 12H・I研修室（戸畑区汐井町1番6号）
※駐車場は限りがございます。公共交通機関をご利用ください。
- 4 対 象 者 社会福祉施設や市民センター、校(地)区社協活動等において、ボランティアコーディネーション(ボランティア受入等)を担う方
定員40名（定員を超えた場合は抽選とさせていただきます。）
- 5 受講料 700円
- 6 日程・内容

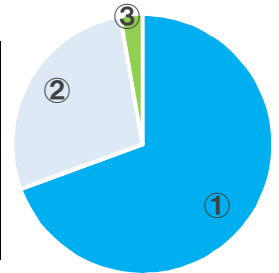
日 時	内 容	講 師	
① 平成 30 年 6 月 13 日 (水)	09:30	受付	
	09:45	開 会・オリエンテーション	北九州市社会福祉協議会
	10:00 ～ 10:45	事業紹介 「社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動センターとは」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	11:00 ～ 12:00	講 義 「ボランティアコーディネートとは」	北九州市社会福祉協議会 ボランティア・市民活動センター 活動推進課
	12:00	昼休み	
② 平成 30 年 7 月 20 日 (金)	13:00 ～ 15:45	講 義・ワークショップ 「ボランティアコーディネーションで Happyをデザインしよう!」	生き方デザイン研究所 代表理事 遠山 昌子
	16:00	閉 会	北九州市社会福祉協議会

■ 実施状況

受講者	申込者数	出席者数	延出席者数	平均年齢	研 日 数 修 等	開催日数	研修時間
	(男・女)	(出席率)				延	延
	41 人	37 人	37 人	45.4 才		2 日	12 時間
	10・31	90.2 %					

■ アンケート結果

全体評価	回答 (回率)	研修全体 について 満足 できたか?	①	②	③	④	⑤
			全く その通り	どちらか と言うと その通り	どちらとも 言えない	どちらか と言うと そうでない	全く そうでない
	36 件 97.3 %	満足 できたか?	25 69.4 %	10 27.8 %	1 2.8 %	0 0 %	0 0 %



主な意見	<p>■ ボランティアについて改めて知ることができた。納得と共感ということの大切さを知った。</p>
	<p>■ ボランティアの方の気持ちを理解し、その上での体制づくりの大切さが理解できた。よい架け橋となるよう、今後の仕事にも役立てたい。</p>

■ 事業点検

点検・講評 (今後の取り組み)	<p>■ 午前中はボランティアの基本的な事柄をパワーポイントを使い分かりやすく丁寧に解説。午後はどのようにボランティアをコーディネートしていくかに重点を置き、受講生にとっては満足度が高い研修だった。</p>
--------------------	---

■ 研修風景

講義 ①		講義 ②	
講義 ③		修了証書授与式	



イメージキャラクター

「プチボザウルス」

このキャラクターは、子どもたちの小地域福祉活動から生まれた社会福祉協議会マスコットです。プチボザウルスのプチボとは、プチ「小さな、ほんの少しの」ボランティア（福祉活動などに参加する人）の意味を持ち、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」をすすめる社会福祉協議会の活動をイメージしています。

社会福祉法人 北九州市社会福祉協議会
ボランティア・市民活動センター研修課
(北九州市社会福祉ボランティア大学校)

〒804-0067 北九州市戸畑区汐井町1番6号 ウェルとばた3階

TEL 093(881)6321

FAX 093(881)6306

ホームページ <http://www.kitaq-shakyo.or.jp/vol>